

## 第5章 生涯学習

- 第1節 生涯学習の推進
- 第2節 社会教育の推進
- 第3節 青少年教育
- 第4節 成人教育
- 第5節 視聴覚教育
- 第6節 宮城県図書館
- 第7節 宮城県松島自然の家
- 第8節 宮城県蔵王自然の家
- 第9節 宮城県志津川自然の家

## 第1節 生涯学習の推進

社会環境の急激な変化の中にあつて、県民一人ひとりが、自己の充実や生活の向上と望ましい地域社会の形成を目指し、生涯にわたっていつでも必要な学習ができるように、生涯学習の視点から社会の各種学習機能を総合的に整備充実し、支援者を養成するとともに、学習の機会を提供することが重要な課題である。

このため、本年度は生涯学習推進の一環として次の事業を行った。

### 1 第三次宮城県生涯学習振興計画の推進

平成18年3月に策定した「第三次宮城県生涯学習振興計画」に基づき、県民の主体的な学習活動を支援し、生涯学習環境の充実に努めた。

### 2 みやぎ県民大学推進事業

#### (1) 高等学校・専門施設・大学開放講座、自主企画講座

県民の多様な学習要求にこたえるため、高等学校、専門施設、大学、NPO団体等の持つ専門的教育機能を活用して、一般教養・専門的知識・技能などの学習機会の提供に努めた。(第5-1表)

第5-1表 平成22年度みやぎ県民大学学校等開放講座開催状況

#### 高等学校開放講座

実施機関	講座名	開催期間	回数	受講者数
宮城県農業高等学校	農業高校生と農業を体験しませんか!	6/26 ~ 11/1	6	25
宮城県工業高等学校	第二種電気工事士にチャレンジ	7/21 ~ 7/23	3	9
宮城県宮城広瀬高等学校	篆刻を楽しもう	8/19 ~ 8/21	3	8
宮城県宮城広瀬高等学校	水彩画「花を描く」	8/19 ~ 8/21	3	9
宮城県貞山高等学校	全経簿記検定3級を取ろう	10/30 ~ 11/27	5	32
宮城県利府高等学校	スポーツ医学	4/21 ~ 2/16	25	19
宮城県利府高等学校	運動生理学	5/14 ~ 2/18	25	15
宮城県蔵王高等学校	広げよう仲間づくりの引き出し!	9/20 ~ 11/20	2	15
宮城県白石工業高等学校	世界でひとつだけの文鎮制作~金属の加工~	10/24 ~ 11/7	3	10
宮城県白石工業高等学校	身近にある化学	7/25 ~ 8/3	3	25
宮城県大河原商業高等学校	上手なWebの歩き方	8/3 ~ 8/6	4	14
宮城県柴田農林高等学校	農業の原点と今後の農業のあり方を考える	6/23 ~ 9/13	3	27
宮城県伊具高等学校	伊具高校体験講座	5/15 ~ 10/2	4	31
宮城県石巻工業高等学校	地域の実験室「化学の世界」	8/3 ~ 8/5	3	14
宮城県石巻北高等学校	基礎から学ぶ農業簿記~仕訳から決算まで~	7/26 ~ 7/30	4	6
宮城県東松島高等学校	自然科学(地学)~身近な自然現象について考える~	10/16 ~ 11/6	4	2
宮城県東松島高等学校	オリジナル陶器の制作~全工程を自分の手で~	10/16 ~ 11/20	5	14
宮城県東松島高等学校	大豆を使った加工品作り	8/3 ~ 8/4	2	6
宮城県古川高等学校	親子で楽しむ食生活2	8/7 ~ 10/23	4	8
宮城県古川工業高等学校	化学技術の世界にふれてみませんか?	7/3 ~ 7/17	3	22
宮城県松山高等学校	家庭科を体験してみませんか?~手作りで生活を楽しく2~	7/3 ~ 7/17	3	26
宮城県加美農業高等学校	休日の畑遊び5	6/5 ~ 10/30	6	30
宮城県小牛田農林高等学校	自然体験してみませんか?~里山を満喫しよう~	5/15 ~ 10/16	2	139
宮城県鹿島台商業高等学校	パソコンフル活用~仕事に趣味に必要なパソコン実務教室~	7/6 ~ 8/3	4	26
宮城県迫桜高等学校	普通救命法・防災講習	8/4 ~ 8/7	2	6
宮城県迫桜高等学校	迫桜高校農業体験	8/21 ~ 12/18	5	5
宮城県一迫商業高等学校	パソコン開放講座	8/3 ~ 8/4	2	13
宮城県佐沼高等学校	やさしい中国語会話(初級コース)	6/1 ~ 6/29	5	30
宮城県佐沼高等学校	やさしい中国語会話(中級コース)	7/6 ~ 8/3	5	30
宮城県気仙沼西高等学校	ふれあいパソコン教室	8/4 ~ 8/6	3	18
宮城県本吉響高等学校	はじめてのやさも教室~縄文土器に挑戦~	7/21 ~ 7/24	4	6
宮城県立視覚支援学校	楽しく学べるパソコン点訳講座	7/21 ~ 7/23	3	11

(25高等学校32講座)

(計651人)

#### 専門施設開放講座

実施機関	講座名	開催期間	回数	受講者数
宮城県志津川自然の家	生き生きゆとりライフ	9/19 ~ 11/13	4	10
宮城県松島自然の家	秋の奥松島ウォーキング	10/7 ~ 10/28	4	29
宮城県図書館	叡智の杜を訪ねて	11/6 ~ 11/27	4	58
宮城県美術館	宮城県美術館コレクション散歩2	9/4 ~ 9/25	4	114

(4施設4講座)

(計211人)

大学開放講座

実施機関	講座名	開催期間	回数	受講者数
東北大学大学院文学研究科	人間理解の方法2～世界・日本・仙台～	9/13～9/18	6	40
東北大学大学院歯学研究所	健康に生きることは口から始まる	9/4～10/2	5	42
東北大学大学院農学研究所	食品関連のトピックス紹介	8/25～9/22	5	74
東北大学大学院環境科学研究所	アジアの環境と社会	10/8～10/29	4	51
東北大学金属材料研究所	地球にやさしいエネルギーとエコ材料～太陽電池から水素まで～	7/27～8/24	4	49
東北大学多元物質科学研究所	持続可能な社会創生のための物づくりプロセス・システム	7/9～8/6	5	39
東北大学流体科学研究所	ながれ	8/27～9/24	5	65
宮城教育大学	能と日本文化	10/2～1/22	5	81
宮城教育大学(岩沼市会場)	「水と暮らし」をテーマに身近な環境を考える	7/3～8/7	4	44
宮城大学	〈親子〉の歴史	11/10～12/3	4	13
東北福祉大学	我が国経済の現状と課題－デフレ経済下の東北の産業・経済の活性化問題	10/14～11/11	5	10
東北生活文化大学	環境と健康～21世紀の健康学	9/11～9/18	3	33
尚絅学院大学	最近の非行について考える	9/29～11/10	3	71
仙台大学	いつも元気でエコ・ライフ	7/2～7/23	4	126
石巻専修大学	知の発展～どこからきたか、どこへゆくのか～	5/13～7/29	12	140
宮城誠真短期大学	うるおいある生活を求めて	9/1～10/6	6	18

(9大学16講座)

(計896人)

自主企画講座

実施機関	講座名	開催期間	回数	受講者数
特定非営利活動法人冒險あそび場 ーせんたい・みやぎネットワーク	子どもにかかわる大人のための研修	10/31～12/12	3	24
NPO せんたい食農交流ネット	おいしい野菜を知ろう	10/16～11/20	2	51
特定非営利活動法人まなびのたねネット トワーク	就職活動前に知っておきたい自分の強みと未来設計図	11/9～11/22	3	21
まちづくりNPOげんき宮城研究所	災害を学び、考えそして行動しよう	10/17～10/24	2	18
生涯学習支援サークルマナビサポ20	もっと知り、もっと味わう！石巻ちょこっと応援隊パート2	9/4～9/18	2	24

(5団体5講座)

(計138人)

(2) 生涯学習支援者養成講座「入門編・実践編」

県内の各市町村や社会教育機関・団体・民間等で生涯学習に意欲のある方を対象に、専門的な学習講座や演習の場を通して生涯学習支援者を養成するための講座を開設した。

○実施期間及び回数

入門編 11月～12月 6回

実践編 6月～9月 6回

○参加の状況

入門編 38人 実践編 20人

○修了者の名簿を作成し、市町村、関係団体などに配布し、その活用に努めた。

(3) 生涯学習活用出前講座

生涯学習支援者養成講座の修了者等を講師として、参加・参画型の学習機会に対する需要の高まりに対応した学習機会を県民に提供し、各地域における生涯学習の推進に寄与するとともに、生涯学習成果の活用促進を図ることを通じ、創造性豊かな社会の実現を目指すため講座を開設した。

○開設市町村

東松島市 (7月1日～9月9日) 5回40人

柴田町 (10月20日～11月17日) 5回40人

大郷町 (6月24日～10月14日) 5回33人

涌谷町 (10月8日～11月26日) 5回38人

3 家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成

(1) 協働教育振興事業の実施

家庭・地域と学校が共に手を携えて教育の充実を図る協働教育が、全県下において活発かつ継続的・安定的に実施されるために、協働教育に関わる人材の育成、ネットワーク及び仕組みづくり等の取組を一層進めることにより、社会全体で健全な子どもたちを育てる環境を整えた。

① 協働教育振興事業

○「協働教育運営会議」の開催

第4回：6月2日(テーマについて提案)，

第5回：9月8日(PTA等の団体との連携・協力について)

第6回：12月1日(安定的・継続的な協働教育の推進について)

○協働推進市町村ネットワーク会議の開催(8月18日，自治会館，参加者66名)

○情報提供事業

- ・ ホームページでの協働実践情報の提供
- ・ 冊子「学校支援地域本部事業実践事例集」1,000部配布
- ・ 各種会議での事業PR，啓発(教育長会議，指導主事会議，社教主事会議，市町村主管課長・担当者会議等)
- ・ 教職員研修(初任研，10年研選択研修に各教育事務所開催の協働教育研修会の位置付け)
- ・ 県PTA連合会等関係団体との連携
- ・ 県P連活動計画への協働教育の位置付け，協働教育研修会の地区PTAとの共催(仙台，栗原)
- ・ 報道機関を通じた広報活動
- 協働教育研修会の開催(教育事務所毎に開催)
  - 6/16南三陸地区協働教育研修会 66名
  - 9/29大崎地区協働教育研修会 192名
  - 11/6大河原管内社会教育推進大会 242名
  - 11/13宮城県PTA指導者地区研修会 106名
  - 11/18東部教育事務所管内協働教育研修会 141名
  - 12/9栗原地区協働教育研修会 76名

(2) 学校支援地域本部事業

中学校区に、地域全体で学校を支援する体制をつくり、地域住民の積極的な学校支援活動を通じて教員の負担軽減を図るとともに、家庭・地域・学校・行政による協働教育の振興を図った。

○ 事業の形態 国から県への委託(県から市町村または市町村実行委員会へ再委託)

○ 学校支援地域本部事業の枠組み

○ 県事業(552千円)

① 県運営協議会の設置・運営協議会の開催

② 県内市町村への普及啓発・市町村支援・広報

③ 普及啓発研修会(コーディネーター研修)等の開催

○ 市町村実行委員会・学校支援地域本部設置(市町村等へ再委託：19,201千円)

① 市町村実行委員会の設置

・ コーディネーターの養成

・ 学校支援ボランティアの養成

・ 市町村内の学校支援事業の企画立案

- ② 学校支援地域本部の設置（中学校の余裕教室または公民館等に設置）
- ・ コーディネーター配置
  - ・ 人材のコーディネート及び人材バンクの設置・活用（学校支援ボランティア）
- 委託期間終了（平成22年）後も市町村単独で継続して事業が実施できるように県として支援や指導を実施する。

○学校支援本部事業

学校支援地域本部の設置 県内14市町18学校支援地域本部

N O	市 町 村	実行委員会名	学校支援地域本部名
1	登 米 市	登米市学校支援地域本部実行委員会	登米市東和地区学校支援地域本部
2	栗 原 市	栗原市学校支援地域本部事業実行委員会	瀬峰地区学校支援本部
3	大 崎 市	松山地区学校支援地域本部実行委員会	松山地区学校支援地域本部
4	蔵 王 町	蔵王町学校支援本部実行委員会	蔵王町学校支援本部
5	村 田 町	村田町学校支援協議会	村田町学校支援地域本部
6	大 和 町	大和町学校支援地域本部実行委員会	大和町学校支援地域本部
7	富 谷 町	富谷町地域と学校をつなぐ実行委員会	富谷・成田・富ヶ丘・日吉台・東向陽台地区学校支援地域本部
8	色 麻 町	色麻町協働のまちづくり実行委員会	色麻町学校支援地域本部
9	白 石 市	白石市学校支援本部実行委員会	白石市学校支援地域本部
10	多賀城市	多賀城市学校・家庭・地域連携実行委員会	東豊中学校区学校支援地域本部
11	大河原町	大河原町学校支援事業実行委員会	大河原町学校支援地域本部
12	七ヶ浜町	七ヶ浜町学校支援実行委員会	七ヶ浜町学校支援地域本部
13	川 崎 町	川崎町学校支援事業実行委員会	川崎町学校支援地域本部
14	涌 谷 町	元気わくやふれあい町づくり実行委員会	元気わくやふれあいサポートセンター

(3) 放課後子ども教室推進事業

県内の小学校区において、すべての子どもを対象とし、放課後や週末等に子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の方々の参画（ボランティア活動等）を得て、子どもたちの学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を実施することにより、子どもたちが地域の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進した。

- ① 放課後子ども教室推進事業 6市9町49教室  
 （気仙沼市，白石市，多賀城市，岩沼市，登米市，大崎市，大河原町，丸森町，山元町，富谷町，大和町，色麻町，美里町，亘理町，加美町）
- ② 放課後子ども教室備品整備事業 2市2町6教室  
 （多賀城市，登米市，亘理町，加美町）
- ③ 放課後子ども教室指導者研修・推進委員会事業
- 放課後児童クラブ指導員等ブロック研修会  
 （6／2栗原市22名，6／9仙台市0名，6／16大郷町22名 6／23名取市35名 計79名）
  - 宮城県放課後子ども教室指導者等研修会  
 （11／24宮城県総合体育館101名）
  - 宮城県放課後子どもプラン連絡調整会議の開催  
 （7／27子ども総合センター10名）

## 第2節 社会教育の推進

### 1 市町村の社会教育行政

生涯学習社会に向けて、地域住民と直接的な関わりをもつ市町村の果たす役割は大きく、社会教育の推進体制の充実が強く望まれている。

特に、社会教育の指導体制の強化を図るため、職員の適正配置・専任化の促進について働き掛けるとともに、社会教育主事の派遣を行った。

- (1) 市町村社会教育関係職員数は、教委事務局484人・公民館職員1,079人（職員の専任388人）・図書館職員215人・視聴覚教材センター職員56人の計1,834人である。なお、市町村における社会教育主事の配置率は94.3%である。また、社会教育指導員の配置市町村は18市町村で35人と昨年度より4名増えている。（第5-2表参照）

市町村の要請に応じて県教委任命の社会教育主事14人を4市（石巻2、大崎1、東松島1、気仙沼1）、8町（村田1、亶理1、富谷1、大河原1、川崎1、大郷1、涌谷1、女川1）、1広域（大崎広域）に派遣し、市町村の社会教育行政における指導体制の充実強化を図った。

- (2) 社会教育委員は35市町村に設置されており、374人で1教委当たり10.7人となっている。
- (3) 公民館等は248館・職員1,079人で1館平均4.5人と微減した。公民館運営審議会は6市町に設置され、83人が配置されている。県市町立図書館は32館あり、専任職員は217人（司書、司書補85人）1館平均6.8人となっている。

### 2 社会教育委員の会議

第31次宮城県社会教育委員の会議では、「家庭・地域・学校が協働して子どもを育てる環境づくり」を審議テーマに掲げ、平成24年2月に提出予定の意見書の作成を視野に入れ審議をした。

#### 会議の日程及び内容

会議名等	開催月日	内 容	場 所
第1回会議	平成22年 5月25日	○平成22年度生涯学習課所管事業について ○第31次宮城県社会教育委員の会議 審議テーマの方向性について	宮城県 行政庁舎
第2回会議	平成22年 7月20日	○「家庭・地域・学校が協働して子どもを育てる環境づくり」についての現状と審議計画について	宮城県 行政庁舎
第3回会議	平成22年 9月14日	○テーマに関する研修（NPO団体の取組）と審議	宮城県 行政庁舎
第4回会議	平成22年 11月16日	○テーマに関する研修（富谷町の協働教育、気仙沼市の家庭教育）と審議	宮城県 行政庁舎
第5回会議	平成23年 1月25日	○コーディネート機能（コーディネーター）の現状と課題 ○意見書の方向性（骨子等）について	宮城県 行政庁舎

### 3 研修事業

- (1) 社会の進展に伴う県民の学習要求の多様化・高度化に対応し、研修内容を体系的に編成し社会教育関係職員の専門性、指導力の向上を図るため、次の研修を実施した。（第5-4表参照）
- (2) 社会教育専門職員・団体などの中核的指導者を養成するために国や大学が行う各種講習会・研修会・講座への参加を積極的に進めた。

第5-2表 社会教育関係職員数 (単位：人)

教 育 事 務 所 等	市 教 町 委 村 等 数	社会教育主事				公民館職員			
		専任	派遣	兼任	計	専任	兼任	その他	計
大河原	9	9	3	8	20	23	43	78	144
仙 台	13	9	3	6	18	52	87	44	180
北 部	5	1	2	7	10	9	75	42	126
北部栗原	1	4	0	0	4	0	49	0	49
東部登米	1	1	0	0	1	19	33	0	52
東 部	3	2	4	2	8	9	57	7	73
南三陸	2	0	1	6	7	17	15	19	51
仙台市	1	0	0	3	3	259	15	130	404
広 域	4	0	1	1	2	0	0	0	0
計	39	26	14	23	73	388	374	320	1,079

第5-3表 第31次宮城県社会教育委員名簿  
(平成22年4月1日現在)

No	氏 名	役 職 名
1	會 澤 ゆりみ	塩竈市生涯学習センター館長
2	石 垣 政 裕	みやぎお父さんの会ネットワーク世話人
3	伊 藤 治 彦	宮城県青年団連絡協議会会長
4	太 田 一 江	角田市北角田中学校校長
5	亀 井 芳 光	栗原市教育委員会教育長
6	佐々木とし子	宮城県地域活動（母親クラブ）連絡協議会会長
7	蘇 武 徳 行	宮城県岩出山高等学校校長
8	中 山 聖 子	(NPO法人ハーベスト代表理事) 公募委員
9	梨 本 雄太郎	宮城教育大学准教授
10	奈 須 野 毅	宮城県PTA連合会副会長
11	星 美 保	気仙沼市家庭教育推進協議会会長
12	水 谷 修	東北学院大学教授
13	森 雅一郎	東北放送アナウンス学院長
任 期	平成22年3月1日から平成24年2月29日まで ※名簿は五十音順です。	

第5-4表

平成22年度社会教育関係職員研修事業

No.	事業名	趣 旨	対 象	期 日	会 場	参加者数 (人)
1	生涯学習・社会教育主管課長等会議	本県生涯学習施策と主要推進事項等の共通理解を深めるとともに、その推進方策や市町村における生涯学習事業の推進について協議する。	県社会教育主事・市町村社会教育主管課長	4月16日	県自治会館	110
				10月22日	県行政庁舎	78
2	社会教育関係職員研修会	社会教育関係職員としての心構え、役割等の講話や事業例の紹介等の話を聞いたり、情報交換をしたりすることによって、社会教育に携わっての悩みや不安の解消を図るとともに、現代的課題である地域の教育力の活性化のために果たすべき社会教育関係職員の役割等について研修する。	社会教育行政職員・公民館職員等	5月27日	本町分庁舎 県図書館 本町分庁舎	59
				8月25日		40
				10月28日		52
3	県社会教育委員研修会	県内市町村等の社会教育委員及び社会教育行政の担当者が、生涯学習社会の構築に向けた社会教育の推進方策について研修する。	県・市町村社会教育委員、社会教育関係職員等	9月28日	エルパーク 仙台	164
4	公民館職員研修会	公民館職員に求められる資質向上を目指す。	公民館職員等	6月29日	県行政庁舎	88
5	社会教育主事研修会	社会教育主事に必要な知識の獲得や技能向上を目指す。	社会教育主事等	9月10日	自治会館	40
6	社会教育主事講習事前研修会 (①・②)	社会教育についての認識を深めるとともに、社会教育主事の役割及び受講の心構えについて研修する。	東北大学社会教育主事講習受講者	①6月24日	本町分庁舎	44
				②6月25日		44

●国立教育政策研究所主催社会教育研修事業

	講 座 名	期 日	受 講 者 数	受 講 者 所 属
1	社会教育主事講習 (A)	7月21日 (水) ~ 8月25日 (水)	36日間 2人	仙台市2
2	社会教育主事講習 (B)	1月19日 (水) ~ 2月25日 (金)	38日間 1人	南三陸町1
3	メディア教育指導者講座	10月4日 (月) ~ 10月8日 (金)	5日間 0人	

●東北大学社会教育主事講習 (7月5日(月)~8月6日(金))  
受講者数44人 (県39人・市町村5人)

4 社会教育団体に対する支援

全県的組織をもつ社会教育団体に対しての支援として、平成21年度から団体への補助金から、団体が申請する事業に対しての補助金の交付と県教委と共催による研修事業の共催助成事業に改訂した。また、社会教育団体連絡会議を2回開催し、団体相互の交流と情報交換の機会としている。

第5-5表

支 援 対 象 団 体 名	代表者名
1 宮城県地域婦人団体連絡協議会	三浦 絢子
2 宮城県青年団連絡協議会	伊藤 治彦
3 宮城県PTA連合会	高橋 定光
4 宮城県高等学校PTA連合会	猪股 孝之
5 日本ボーイスカウト宮城県連盟	村井 嘉浩
6 ㈱ガールスカウト日本連盟宮城県支部	笠間 恵子
7 ㈱宮城県子ども会育成連合会	菅原 芳郎
8 宮城県公民館連絡協議会	山口 宏
9 宮城県社会教育委員連絡協議会	菅原 敏元
10 宮城県ユネスコ連絡協議会	藤原 五郎
11 ㈱宮城県芸術協会	小山喜三郎
1 補助対象事業 ①「viva90in松島〜1日ガールスカウト体験〜」(7月23~25日実施50千円補助) ㈱ガールスカウト日本連盟宮城県支部 ②ユネスコカレッジ「古代の多賀城遺跡〜奈良・平安朝時代に学ぶ」(9月9.16.22日実施109千円補助)宮城県ユネスコ連絡協議会 2 共催助成事業 ①公民館職員研修会事業(負担金40千円) ②社会教育委員連絡協議会研修会事業(負担金30千円) 3 社会教育団体連絡会議 ①5月21日 ②1月21日に開催	

5 社会教育施設の状況

生涯学習の拠点として期待される社会教育施設については、積極的に整備充実を図ってきたところであるが、市町村合併等による再編により施設の適正配置、専門職員体制の整備、事業内容の充実、関連施設とのネットワーク化等を図り、県民の多様な学習要求に対応できる施設整備が求められている。

(1) 公民館等

ア 設置状況

公民館は、平成22年度現在248館設置されている。市町村合併の進展や学習ニーズの多様化、高度化に伴い、地域の実情に応じて、関連施設の整備状況などを考慮し、適正な配置と整備充実が進められてきた。(第5-6, 7, 8表参照)

イ 職員体制と研修活動

(ア) 職員は専任の割合が35.9%で1館当たり1.6人である。  
(イ) 研修活動としては、社会教育関係職員研修を3回と公民館職員研修会を1回開催した。

第5-6表 公民館設置状況 (平成22年12月31日現在)

区 分	対象人口 (人) (H17国勢調査速報)	現 況		1市町村当たり 館数 (館)	1館当たり人口 (人)
		市町村数	総 数		
大河原	183,380	9	41	4.6	4,472
仙 台	444,751	13	39	3.0	11,403
大 崎	210,634	5	43	8.6	4,898
栗 原	74,778	1	21	21.0	3,560
登 米	83,880	1	17	17.0	4,934
東 部	213,594	3	12	4.0	17,799
南三陸	90,707	2	16	5.3	5,669
仙 台 市	1,046,766	1	59	59.0	17,741
計	2,264,610	35	248	7.1	9,131

第5-7表 過去10年間における公民館整備状況

区 分	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	この10年 間の平均	この5年 間の平均
	新築数 (館)	2	1	2	0	0	0	0	0	0		
	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0.5	0.0

表5-8表 公民館職員配置状況

(平22.12.1現在)				
区 分	館長 (人)	主事等 (人)	計 (人)	割合 (%)
専 任	17	371	388	35.8
兼 任	63	311	374	34.6
嘱 託	125	195	320	29.6
計	205	877	1,082	100.0

## (2) 図書館

第5-9表

図書館設置状況

	設置年	床面積 (㎡)	蔵書点数 (22年度:点)	個人貸出点数 (22年度:点)	専任職員数 (22年度:人)	うち有資格者数 (22年度:人)	図書購入費 (22年度決算 額:千円)
宮城県図書館	明治14年	18,100	1,063,927	816,159	39	15	37,731
仙台市民図書館	昭和37年	3,750	499,024	811,594	26	12	55,265
仙台市広瀬図書館	平成3年	600	103,357	374,193	-	-	8,258
仙台市宮城野図書館	平成2年	3,247	230,134	588,270	10	1	15,184
仙台市榴岡図書館	昭和58年	607	65,853	214,235	5	2	7,079
仙台市若林図書館	平成5年	1,911	233,136	676,706	10	3	16,681
仙台市太白図書館	平成11年	2,454	228,523	754,152	9	6	15,473
仙台市泉図書館	昭和53年	6,979	531,935	857,457	16	5	24,270
石巻市図書館	明治14年	1,463	259,145	303,863	9	4	11,357
塩竈市民図書館	昭和51年	2,543	221,186	270,253	9	3	14,510
気仙沼図書館	大正5年	1,944	211,388	184,678	4	1	10,310
本吉図書館	昭和26年	476	75,549	78,106	4	3	2,155
白石市図書館	大正3年	1,439	120,623	97,227	5	2	6,424
名取市図書館	昭和51年	862	159,451	293,009	7	4	18,453
角田市図書館	昭和46年	885	136,908	147,829	5	2	7,539
多賀城市立図書館	昭和53年	1,541	204,314	396,483	7	1	12,147
岩沼市図書館	昭和50年	976	129,792	170,950	3	3	32,497
登米市立迫図書館	昭和37年	531	36,568	40,716	2	1	1,476
登米市立登米図書館	昭和29年	124	31,143	11,476	-	-	805
栗原市立図書館	平成10年	1,809	105,274	123,399	-	-	8,158
東松島市図書館	平成5年	999	127,359	260,257	2	2	8,602
大崎市図書館	昭和36年	1,519	149,434	254,105	7	4	11,342
蔵王町立図書館	平成16年	593	48,967	83,386	1	1	4,000
柴田町図書館	平成22年	236	28,329	62,515	3	1	8,210
丸森町立金山図書館	昭和11年	121	24,192	1,152	-	-	202
亘理町立図書館	平成6年	1,963	152,777	183,338	5	2	7,712
利府町図書館	平成16年	203	43,950	153,730	5	2	4,098
加美町中新田図書館	平成6年	2,878	278,063	93,625	3	2	7,478
加美町小野田図書館	平成16年	903	75,211	76,727	2	1	3,117
美里町小牛田図書館	平成2年	923	118,273	141,763	2	1	7,604
美里町南郷図書館	平成18年	261	28,237	26,195	1	1	2,300
南三陸町図書館	昭和62年	420	-	-	1	1	1,877
合計	-	-	5,722,022	8,547,548	202	86	372,314

**(3) 博物館**

登録施設・相当施設合わせて18館あるが、民族資料館など各地域の特色を生かした類似施設が年々整備されてきている。

(第5-10表参照)

県美術館は「開かれた」総合美術センターとして広く県民生

活に密着し、親しまれる事業を企画・実施してきた。

今後ますます県民の豊かな文化環境を求める気運が高まる中で、それぞれの博物館、類似施設などの特色を十分生かした連携が強く望まれる。

第5-10表

博物館設置状況

施設名	設置者	登録年月日	所在地	
登録博物館	東北歴史博物館	宮城県	平成12年1月26日	多賀城市高崎1-22-1
	宮城県美術館	宮城県	昭和57年9月4日	仙台市青葉区川内元支倉34-1
	瑞巖寺宝物館	宗教法人瑞巖寺	昭和27年8月13日	松島町松島字町内91
	仙台市博物館	仙台市	昭和36年10月2日	仙台市青葉区川内三の丸跡
	鹽竈神社博物館	宗教法人志波彦塩竈神社	昭和41年5月6日	塩竈市一森山1-1
	仙台市科学館	仙台市	平成2年9月26日	仙台市青葉区台原森林公園4-1
	カメイ記念展示館	財団法人カメイ社会教育振興財団	平成7年11月10日	仙台市青葉区五橋1-1-3
	歴史博物館青葉城資料展示館	宗教法人宮城県護国神社	平成18年10月20日	仙台市青葉区川内1番地
	仙台市天文台	仙台市	平成20年6月5日	仙台市青葉区錦ヶ丘9-29-32
相当施設	マリンピア松島水族館	仙台急行株式会社	昭和30年12月28日	松島町浪打浜16
	仙台市八木山動物公園	仙台市	昭和41年5月25日	仙台市太白区八木山本町1-43
	社会福祉法人共生福祉会福島美術館	社会福祉法人共生福祉会	昭和55年8月4日	仙台市若林区土樋288-2
	東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館	学校法人梅壇学園	平成元年5月31日	仙台市青葉区国見一丁目8-1
	大崎市松山ふるさと歴史館	大崎市	平成4年3月1日	大崎市松山千石字松山428
	芹沢長介記念東北陶磁文化館	加美町	平成6年7月28日	加美町字町裏64
	リアス・アーク美術館	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合	平成12年7月18日	気仙沼市宇赤岩牧沢138-5
	宮城県慶長使節船ミュージアム	宮城県	平成21年2月25日	石巻市渡波字大森30-2
	東北学院大学博物館	学校法人東北学院	平成22年3月17日	仙台市青葉区土樋一丁目3-1

**(4) 青少年教育施設**

自然の家3施設(県立)、青少年自然の家1施設(国立)、少年自然の家1施設(仙台市立)、国立野営場1施設、青年会館1館があり、それぞれの施設の特色を生かした事業が実施されている。

**(5) 宮城県婦人会館**

一日(日帰り)研修、家庭における男女共同参画講座などの事業を、指定管理者である(財)みやぎ婦人会館が実施した。

**6 子ども読書活動推進事業**

県内における子どもの読書活動の推進に関する方策と具体的な取組を内容として、平成21年4月に策定された「第二次みやぎ子ども読書活動推進計画」を踏まえ、各市町村の子ども読書活動推進計画の実施を支援するため、活動の担い手を育成する講習会を開催した。

**(1) 読み聞かせボランティア養成講座**

- ・多賀城市  
期日：平成22年6月1日～6月29日  
会場：多賀城市立図書館他  
修了者：29人
- ・大崎市  
期日：平成22年6月25日～7月16日  
会場：大崎市図書館他  
修了者：40人
- ・蔵王町  
期日：平成22年9月28日～10月26日  
会場：蔵王町立図書館他  
修了者：17人
- ・美里町  
期日：平成22年6月10日～7月8日  
会場：美里町小牛田図書館他  
修了者：30人

**(2) ブックトーク講座**

期日：平成22年12月17日  
会場：宮城県図書館  
修了者：15人



### 第3節 青少年教育

青少年を取り巻く社会環境の変化が青少年にさまざまな影響を与えている中、次代を担う青少年が社会の変化に主体的に対応できる資質と意欲を持ち、たくましく思いやりのある人間として育つための青少年育成体制と事業の充実、環境づくりの総合的な推進に努める。

#### (1) 青少年育成指導者研修の実施

No	事業名	内 容	対 象	期 日	会 場
1	MAP（みやぎアドベンチャープログラム）研修会	<p>学校外活動の充実と地域におけるMAPの普及・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・MAP体験会 MAPの基本的な考え方を学ぶとともに、簡単なMAPのアクティビティを体験する。</li> <li>・MAP講習Ⅰ MAPの理論やプログラミングを学ぶとともに、様々なMAPのアクティビティやローエレメントを研修する。</li> <li>・MAP講習Ⅱ MAPのプログラミングの組立と、アドベンチャーカウンセリング等心理的手法を学ぶ。</li> </ul>	<p>市町村教育委員会・公民館・青少年行政担当者・施設職員・少年教育指導者等各 25人</p> <p>MAP体験会修了者 25人</p> <p>MAP講習Ⅰ修了者 25人</p>	<p>5月25日（火）</p> <p>7月6日（火）</p> <p>7月21日（水） ～23日（金）</p> <p>8月4日（水） ～6日（金）</p>	<p>松島自然の家</p> <p>松島自然の家</p> <p>松島自然の家</p> <p>志津川自然の家</p>
2	ジュニア・リーダー中級研修会	ジュニア・リーダーとして必要な知識・技能・態度を身につけさせ、実践力を高めさせる研修会を開催。	<p>ジュニア・リーダー初級研修を修了し、10時間以上の活動実績のある中学2年生から高校生等（市町村教育委員会の推薦者）</p> <p>大河原 36人 仙台 18人 北部・栗原 18人 南三陸・登米 27人 東部 52人</p>	7月・8月	<p>教育事務所ごと5会場で実施（南三陸・登米、北部・栗原合同開催）</p> <p>蔵王自然の家 婦人会館研修室 国立花山青少年自然の家 志津川自然の家 松島自然の家</p>
3	ジュニア・リーダー上級研修会	ジュニア・リーダーによる発展的活動について深く理解し、自主的な活動意欲を高めさせる研修会を開催。	<p>ジュニア・リーダー中級研修を修了し、10時間以上の活動実績のある中学2年生から高校生等（市町村教育委員会の推薦者）</p> <p>大河原 23人 仙台 15人 北部 4人 栗原 1人 登米 7人 東部 3人 南三陸 15人</p>	12月25日（土） ～27日（月）	<p>松島自然の家（大河原、仙台、東部管内） 志津川自然の家（北部、栗原、登米、南三陸管内）</p>

(2) 青少年の体験活動・ボランティア活動支援

No	事業名	内容	対象	期日	会場
1	青少年長期自然体験活動推進事業	夏季休業中等に、親と離れて1週間程度の自然体験、長期宿泊体験活動等を通して自主性・社会性の育成を図る。	42人	7月27日 ～8月2日	蔵王自然の家
			36人	8月1日 ～7日	松島自然の家
			30人	8月6日 ～12日	志津川自然の家
2	セカンドスクールの活用事業	児童生徒に豊かな体験の場を提供するために、学校と青少年教育施設との連携・融合を図り、宿泊体験活動についての支援・協力を推進する。	児童生徒 604人	通年 10月7日 ～ 11月19日	松島自然の家
			124人	9月27日 ～ 9月30日	蔵王自然の家
			66人	11月17日 ～ 11月19日	志津川自然の家
			青年成人 58人	通年	蔵王自然の家
3	青少年教育施設ボランティア活動推進事業	青少年教育施設におけるボランティアの活用を図るとともに養成研修を実施する。	65人		松島自然の家
			15人		志津川自然の家

(3) 青年の地域活動支援（青年文化祭、青年体育大会の実施）

No	事業名	内容	対象	期日	会場
1	青年地域活動促進事業	青年の文化活動及びスポーツ活動を軸とした地域活動を推進し、真に豊かな地域社会の創造を目指す。 (1)地方青年文化祭 (2)宮城県青年文化祭 (3)宮城県青年体育大会 (4)全国青年大会	各市町村青年	11月 ～3月	各教育事務所管内 7会場
			県内青年	5月29日 ～30日	登米市 米山公民館
			県内青年	8月7日 8日 8月27日 28日	大郷町体育館 他
			県青年代表	11月12日 ～15日	東京都(日本青年館他)
2	青年会館研修奨励事業	地域づくりに寄与できる青年の育成と青年団体指導者の資質向上を図る諸事業を実施する。 (1)青年地域交流事業	各種青年	通年(年4回)	(財)宮城県青年会館

(4) 青年団体への協力・援助

県内地域で活動している青年団体間の連携の必要性が叫ばれ、連絡協議会を結成し8団体が加盟している。

ア 地域青年団

地域青年団は、宮城県青年団連絡協議会をもって代表される。平成22年度登録団員数は、608人となっている。地方青年文化祭、県青年文化祭、県青年体育大会、全国青年大会を中心に協力・援助を行っている。

イ その他の青年団体

地域青年団体以外の青年団体は、次に上げるとおりである。

- 宮城県農村青少年クラブ連絡協議会
- 宮城県農協青年連盟
- 宮城県商工会青年部連合会
- 宮城県林業研究会連絡協議会
- 宮城県友愛青年同志会
- 宮城県森林組合青年部連絡協議会
- 宮城県漁協青年団体連絡協議会
- 宮城県青年国際交流機構
- 宮城県青年の船友の会
- 宮城県青年海外協力協会
- 宮城県ユースホステル協会
- 伊達な翼の会

## 第4節 成人教育

### 1 女性教育

#### (1) 指導の要点

女性のライフスタイルの変化に伴う学習要求の多様化に対応した女性教育の学習機会の充実と、婦人学級・女性団体の自主的活動の促進を図った。

#### (2) 市町村における女性教育に関する学級実施状況（除：仙台市）

○学級事業数 282 参加者数 13,137人  
※22年度実績未定のため21年度実績のまま

#### (3) 市町村における女性ボランティア養成講座（除：仙台市）

○講座数 13 参加者数 759人  
※22年度実績未定のため21年度実績のまま

#### (4) 地域婦人団体の現状

県内では119単位団体、10,913人の会員を有する宮城県地域婦人団体連絡協議会は、青少年の健全育成、男女共同参画社会の実現、環境保全と資源の有効利用、高齢化社会への対応、世界平和の確立等の実現に努めることを目的とする全国組織を持つ団体である。

宮婦連の自主性を尊重しつつ、求めに応じて指導、助言、援助を行った。

### 2 家庭教育

#### (1) 指導の要点

心豊かなたくましい青少年の育成を目指し、家庭・学校・地域が持つ独自の教育機能の強化に努め相互の連携を図ることを目標とした。

ア 基本的な生活の場である家庭の在り方や、乳幼児期における家庭教育に関する学習の充実を努める。

イ 家庭教育に関する親の学習機会・内容の充実や情報提供などを推進するとともに指導者の確保を図る。

ウ 子供を取り巻くあらゆる人々を対象とし、特に男女が共に参加できる学習の場の提供と、保健衛生・福祉等関係機関との連携に努める。

#### (2) 事業

○ 家庭教育支援推進事業

##### ① 趣旨

家庭教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う上で極めて重要な役割を担うものであり、学校教育・社会教育につながる生涯教育の起点でもある。特に心身両面で著しい発達を示す乳幼児期にその発達を促し、調和のとれた子供に育てていくことは親たちの大きな役割であり、果たすべき大きな課題である。

子育てを行っている親等が当面している家庭教育上の諸問題について必要な情報や学習機会を提供するとともに、子供を育てていく上で適切な助言や指導が行える相談体制の整備に努める等、生涯学習の基礎となる家庭教育の充実と振興を図る。

② 実施期間 4月1日～3月31日

③ 事業の対象

親、家族、保育従事者、青少年育成会担当者、社会教育主事、小中学校教諭等、家庭教育に関心をもつ者。これから親になる青年男女。

④ 事業内容

ア 家庭教育の情報提供

・家庭教育手帳データ（文部科学省HP）の活用促進  
・生涯学習課HPの活用

イ 子どもの生活習慣確立の推進

・「はやね・はやおき・あさごはん」の推奨

ウ 市町村等での家庭教育関連講座実施への講師紹介

○ 家庭教育支援基盤形成事業（文部科学省補助事業）

##### ① 趣旨

家庭教育支援チームの普及・定着、子育てサポーターの養成、親等に対する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会を提供することで、家庭教育の充実を図る。

② 実施期間 4月1日～3月31日

③ 事業の対象

親、家族、保育従事者、青少年健全育成関係者、社会教育関係者、学校教育関係者、家庭教育の関心をもつ者、これから親になる青年男女等。

④ 事業内容

ア 子育てサポーター養成講座

期 日 平成22年6月15日～10月14日まで各2日間  
8時間程度の研修

会 場 大河原管内 大河原合同庁舎  
仙台管内 仙台合同庁舎  
北部管内 大崎合同庁舎、栗原文化会館  
東部管内 登米合同庁舎、石巻合同庁舎  
南三陸管内 平成の森・歌津公民館

内 容 地域の子育て支援者の養成

受講者 110人

イ 子育てサポーターリーダー養成講座

期 日 平成22年9月30日10月29日11月25日12月3日  
4日間14時間程度の研修

会 場 行政庁舎

内 容 地域の子育て支援者リーダーの養成

受講者 13人

ウ 子育てサポーター・サポーターリーダーフォローアップ講座

期 日 平成22年10月4日～11月19日まで  
半日または1日間2時間から4時間程度の研修

会 場 大河原管内 大河原合同庁舎  
仙台管内 仙台合同庁舎  
北部管内 大崎合同庁舎  
東部管内 石巻合同庁舎  
南三陸管内 志津川公民館

内 容 地域の子育て支援者の資質の向上とネットワークの構築

受講者 107人

エ 市町村における家庭教育に関する事業・学級

（補助事業実施12市町村）

241回（参加人数11,958名）

### 3 P T A

#### (1) 平成22年度宮城県P T A指導者研修会

ア 研究テーマ

① 会員の研修活動に関するもの

② 学級、学年、地区P T A活動に関するもの

③ 青少年健全育成にかかわる地域活動に関するもの

イ 期日・会場

7月～12月

宮城県P T A指導者中央研修会（仙台市）

宮城県P T A指導者地区研修会

高校6会場、特別支援教育1会場

#### (2) 宮城県P T A連合会の主な事業

ア 代議員会（仙台市）

イ 地区セミナー（22会場）

ウ 単位P T A会長会（仙台市秋保）

エ 機関紙「P T Aみやぎ」の発行

#### (3) 宮城県高等学校P T A連合会の主な事業

ア 総会（仙台市）

イ 「高P連会報」発行

ウ 高校P T Aフェスティバル2010（仙台市）

#### (4) 優良P T Aの表彰

文部科学大臣表彰（4団体）

- ・南三陸町戸倉中学校PTA
- ・仙台市立木町通小学校PTA
- ・仙台市立長町中学校父母教師会
- ・宮城県村田高等学校父母教師会

ともに、基本的人権はいかに理解されるべきであるかを考え、人権理解の涵養をはかることを目的に開催。

- ア 期 日 9月12日（日）
- イ 会 場 はまなすホール（はまなすの館）
- ウ 内 容 講演会「家族をめぐる人権問題」
- エ 参加者 235人

#### 4 人権教育

- ・平成22年度人権教育指導者研修会

気仙沼市地区PTA連合会会員を対象に学校・家庭での日常生活において、身近な出来事が人権に関わることであることに気づくと

## 第5節 視聴覚教育

学校・社会教育におけるメディアの積極的な活用を促進するとともに情報化社会に対応する教育内容・方法の充実と開発，人材の育成を図るため，視聴覚教育推進拠点及び推進体制の整備充実と研修の拡充を目標として掲げ，その具体化と実践化に努めた。

### 1 視聴覚教材センター（ライブラリー）の設置状況

#### (1) 県視聴覚ライブラリー

県の視聴覚ライブラリーは，県図書館内に併置され，地域視聴覚教材センター（ライブラリー）間の連絡調整・指導助言と一般県民に対する視聴覚教材等の提供などに努めた。

#### (2) 市町村の視聴覚教材センター（ライブラリー）

地域視聴覚教材センターは，完全公立化（一部事務組合4・単独5・協議会1）され，視聴覚教育推進拠点となっている。

人的体制・予算措置などに格差がみられ，事業の展開にも影響がでているので，各センター間の連携を強め相互援助を図る中で視聴覚教育の普遍化を目指し，地域の総合的な学習情報機能をもつよう努めた。

## 第6節 宮城県図書館

### 1 宮城県図書館振興基本計画

#### ○ 理念

情報の拠点としての県図書館の機能を強化し、地域文化を保護・育成・活用する「22世紀を牽引する叡智の杜づくり」を進め、県民の皆様により充実した生涯学習を支援します。

なお、この計画は2008年から2012年の5ヵ年で進めるものです。

#### ○ 基本方針

- (1) 生涯学習に役立つ図書館
- (2) 情報の拠点としての図書館
- (3) 次世代を育成する図書館

#### ○ 施策と事業計画

- (1) 生涯学習に役立つ図書館
  - ① 資料の収集・整備
    - a 生涯学習に役立つ資料の収集と整備
  - ② 生涯学習情報の提供
    - a 学習機会の提供
  - ③ 利用しやすい図書館への工夫
    - a 情報発信の促進
    - b 館内表示の工夫
- (2) 情報の拠点としての図書館
  - ① 県内市町村図書館等への支援・連携・協働
    - a 図書館資料の協力貸出の推進
    - b 図書館間の相互協力体制の充実
    - c 図書館の整備・運営に関する助言
  - ② いつでもどこでもサービスを受けられる体制の充実
    - a 図書館情報ネットワークシステムの整備
    - b 障がい者サービスの充実
  - ③ 調査・研究に役立つ機能の充実
    - a 調査・研究に役立つ資料の収集
    - b レファレンス事例の作成・公開
- (3) 次世代を育成する図書館
  - ① 郷土関係資料の維持・充実
    - a 宮城に関する資料の収集と整備
    - b 宮城県の行政資料の収集と行政課題に関する情報提供
  - ② 子どもの読書環境の充実
    - a 読書環境の整備充実
    - b 読書活動の理解の促進
  - ③ 「宮城県図書館次世代育成プロジェクト」の推進
    - a 図書館の知的財産の活用
    - b 図書館の人的資源の活用

### 2 事業予算

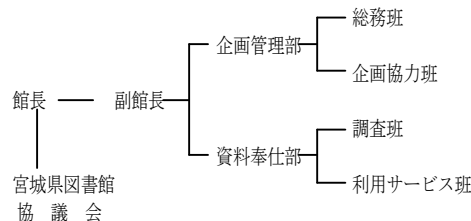
(単位：千円)

区分	当初予算額	概要
管理経費	212,570	本館の運営維持費 (定員内職員の人件費を除く)
図書館協議会	454	図書館協議会運営費
図書館運営費	3,553	機器使用料, 消耗品等に要する経費
市町村支援費	53,545	市町村図書館・公民館図書室の支援に要する経費
企画広報費	746	広報等に要する経費
資料購入費	42,711	資料購入費
貴重資料保存修復事業費	2,031	本館所蔵貴重資料の保存及び修復に要する経費
合計	315,610	

### 3 職員組織及び事務分掌

#### (1) 組織

(平成22年4月1日)



#### (2) 職員数

( ) : 司書・司書補有資格者内数

職名	館長	副館長	部長	次長	主任幹事	主任査査	主任事	計	嘱託	臨時職員	計
人数	1	1	2	3	5	3	7	18	40	18	23
	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	(1)	(2)	(8)	(13)	(18)	(7)
											(25)

### 4 宮城県図書館協議会

#### (1) 第30次宮城県図書館協議会委員名簿

(任期：平成22年3月1日～平成24年2月29日)

区分	氏名	役職名	備考
会長	澤井 清	宮城学院女子大学 名誉教授	
副会長	鶴飼 信好	宮城県漁業信用基金協会 理事長	
委員	小川きょう子	小川ピアノ教室 主宰	
委員	奥山 恒義	宮城県石巻西高等学校 校長	
委員	齋藤 俊子	仙台市立太白小学校 校長	
委員	千葉 和江	石巻市図書館 館長	
委員	横田 隆雄	大和町公民館 館長	
委員	渡辺 政昭	株式会社新報社 編集局生活文化部 部長	

#### (2) 宮城県図書館協議会開催状況

第1回 平成22年7月1日(木)

- ① 報告事項 平成21年度事業実施状況について  
平成22年度事業計画について

- ② 協議事項 図書館の自己評価について

第2回 平成23年2月18日(金)

- ① 報告事項 平成22年度事業実施状況について  
宮城県図書館の自己評価について  
宮城県図書館文化財資料等の移管について  
宮城県公文書館の移転について

### 5 実施事業の概要

#### (1) 生涯学習に役立つ図書館

##### ① 資料の収集・整備

##### a 生涯学習に役立つ資料の収集と整備 資料の整備状況

〔一般図書資料〕(外国語書籍を含む)

購入6,901冊, 寄贈1,060冊, その他153冊の受入・整理を行ったほか、特別整理期間には、蔵書点検や本棚の整理、清掃等を行い、さらに通常業務において計画的に開架書架から閉架書架への移動作業を行うなどして、所蔵本で一杯だった開架書架の閲覧利用を改善しました。また、利用者が資料を選びやすいように、書架両端の分類等の表示を更新し、複写機の利用方法表示などを改善しました。

〔視聴覚資料〕

購入資料点数は372点で、内訳はDVD(270点)、カセットテープ(2点)、コンパクトディスク(87点)、楽譜(13点)を、県民の学習ニーズ、教育の今日的課題、保存の必要性(郷土資料を含む)の視点から収集、受入・整理を行いました。また、利用者が資料を選びやすいように、配架を工夫しました。

購入資料、寄贈資料、その他を含め、全体で476点の整理を行いました。

録音図書、字幕・音声解説ビデオ資料等については、計画的な整備に努めました。

〔児童資料〕(紙芝居などを含む)

購入4,705冊, 寄贈183冊, その他4,618冊の図書を整理しました。

資料については、見計らい選書を中心に児童図書及び研究資料を精選して収集しました。

開架書架を増設し、今まで閉架書庫にあった児童資料研究室資料の一部を移動することにより、より多くの資料を直接手に取り利用できるように工夫しました。

〔逐次刊行物〕

雑誌、年鑑類、行政資料、新聞は合わせて購入879タイトル、寄贈2,397タイトル、計3,276タイトルを受け入れ、整理しました。雑誌のうち『スイングジャーナル』『月間地球環境』など5誌が平成22年度途中に廃刊となりました。

県内市町村図書館からは、移管雑誌を226タイトル、2,129冊を受け入れ、整理しました。雑誌の特集情報を検索ツールとして整備するために、本館業務システムへの登録作業を行い、22年度分登録件数は22,046件で、全登録総数は71,402件となりました。

また、新聞雑誌室の行政資料全件について目録再整備を行い、目録データ件数は2,903件となりました(139件増)。

〔郷土資料〕(地図・電子図書・マイクロフィルムを含む)

郷土関係資料は、購入508点、寄贈1,131点、計1,639点を受け入れ、整理しました。

重点テーマとしては、鳴子温泉観光協会などが発行した地元学関係資料や郷土食文化関係資料などを収集しました。

本県域の地形図(2万5千分の1/国土地理院発行)34枚を購入し、整理しました。

古典籍の利用者代替資料(マイクロフィルム)の劣化に対応するため、再整備事業を実施しました。平成22年度は『奥州名所図絵』『道中記』など地誌関係の古典籍マイクロフィルム41本を複製し、7本にまとめて収録しました。

② 生涯学習情報の提供

a 学習機会の提供

・ボランティア活動の機会の提供

図書館でのボランティア活動の機会を提供するために、ボランティアの募集を行いました。新規登録は69人で、ボランティア登録者は延べ107人となりました。養成講座(21年度末に実施済み参加者:70人)のほか、活動内容ごとの専門講座として、一般書架整理(登録者28人)、児童書架整理(同9人)視聴覚整理(同11人)、読み聞かせ(同21人)、音訳(同30人)、図書館案内(同8人)を実施しました(一部21年度末に実施済み)。また、次年度継続希望者を対象に全体研修会を実施しました。

・図書館ボランティア研修

1) 養成講座(本館ボランティア 平成22年度新規登録者(42人)を対象に実施)

ア 養成講座

期日:平成22年 3月11日(木)・13日(土)(追加登録者向け 5月13日(木)・15日(土))

内容:宮城県図書館の概要、ボランティアについて、各活動担当者の紹介

(参加者:70人、うち追加登録参加者29人)

イ 専門講座(活動分野ごとに、ボランティア登録を行い、専門講座を実施しました。ただし、複数の専門講座を受講できることとしています。

書架整理一般(全2回)〈平成22年度新規登録者15人〉

回	期日	内容	参加者
1	22年3月11日	ラベル(請求記号)・配架について	8人
2	22年3月13日	ラベル(請求記号)・配架について	5人

書架整理児童(全2回)〈平成22年度新規登録者5人〉

回	期日	内容	参加者
1	22年3月11日	ラベル(請求記号)・配架について	3人
2	22年3月13日	ラベル(請求記号)・配架について	1人

書架整理視聴覚(全2回)〈平成22年度新規登録者5人〉

回	期日	内容	参加者
1	22年3月11日	活動内容について・フロア配架区分について・配架練習①	2人
2	22年3月13日	同上 ②	3人

読み聞かせ〈平成22年度新規登録者5人〉

回	期日	内容	参加者
1	22年2月26日	おはなし会、選本について	5人

音訳(全7回)〈平成22年度新規登録者5人追加登録者4人経験年数2年未満の継続者8人〉

回	期日	講座I内容	参加者
1	4月15日(木)	障がい者サービス、読み調べについて	8人
2	4月22日(木)	読み調べについて	8人
3	5月12日(木)	読みのきまり、図表・写真などの読み方	8人
4	5月13日(木)	読みの基本	14人
5	5月20日(木)	録音機器の操作	9人
6	7月1日(木)	報道記事の読み方	14人
7	9月9日(木)	文芸作品の読み方	11人

図書館案内(全3回)〈平成22年度新規登録者1人を含む8人を対象に実施〉

回	期日	内容	参加者
1	6月5日(土) 6月10日(木)	施設見学(どこでどのように案内を行えばよいかについて) 対象:希望者	7人
2	7月17日(土) 7月23日(金)	特別展「時代(とき)をよむ〜雑誌と歩んだ130年」(見どころとお勧めポイントについて) 対象者:希望者	8人
3	23年 1月15日(土) 1月18日(火)	特別展「宮城に眠る玉手箱〜のぞいてみよう児童資料の世界〜」(見どころとお勧めポイントについて) 対象者:希望者	8人

(2) 全体研修会(本館ボランティア登録者107人(新規6追加を含む60人、継続47人)を対象)

期日:平成22年12月16日(木)

内容:各活動報告・講義「著作権について」(参加者:26人)

・上映会

年間を通し定期的に44回実施し1,189人の入場者がありました。これは、昨年度と同様の高い数値となっています。年度途中にアンケートを実施し、その結果も踏まえ年度後半の上映作品を選定し実施しました。アンケートでは既上映作品の再上映や図書館では所蔵していない作品の上映希望などもあり、利用者の関心の高さがうかがえました。

バリアフリー映画の上映も行い、障がい者サービスの向上を目指しました。さらに次年度につながる成果を得られました。

期日:毎月第2・第4土曜日と日曜日に実施。さらに平日(金曜日)に6回実施したところ作品の内容によっては、休日と変わらない利用者が訪れました。

また、3階一般図書と2階児童図書室で、上映会関連本展示コーナーを設置しました。

・「プロジェクト22」—宮城県図書館活用推進事業—

平成16年度にスタートしたプロジェクトで、図書館職員が日々の業務を通して培った知識・技能をもとに、図書館資料、施設を活用して各種の行事を企画、運営するものです。

22年度は3つのグループで、企画した計画を実施しました。

	テーマ	内容
A	災害発生時の「i-BCP」を基にした図書館システム対応マニュアルの作成と訓練	近い将来、高い確率で発生が予想される宮城県沖地震に備え、災害発生時の対応マニュアルを作成し、図書館システムの速やかな復旧と応急処置を図ることで利用者への影響を最小限に食い止めるため、情報政策課の指示で作成した「i-BCP」(情報システム被災発生時の業務継続計画)を基に、より実態に即したマニュアルを作成し、職員がスムーズに対応できるよう訓練を行った。
B	未整理分街頭紙芝居・印刷紙芝居整理活用事業	県内公共図書館から寄贈されていた紙芝居の受入を行い、配架整理を行った。また、タイトル不明の街頭紙芝居の書誌を作成し、目録作成・整理作業を行った。

C	県内市町村図書館だより等の整理方針策定事業	県内市町村図書館で発行する図書館だよりの寄贈ルートを整備し、資料として利用に供することができるよう受入・整理を進めるための方針を策定した。
---	-----------------------	---

「プロジェクト22」における取り組みは、県民の図書館理解を促す機会となりましたが、同時に職員の意識向上、組織の活性化を図る好機ともなりました。

・特別事業「館長講座」

「ヨーロッパにみる地方分権」と題して3回にわたり講演しました。

回	日時	内容	参加人数
1	7月31日 (土) (13:30～15:00)	「ヨーロッパにみる地方分権①スウェーデン、デンマーク」北欧の2つの王国スウェーデンとデンマークを取り上げた。	28人
2	8月28日 (土) (13:30～15:00)	「ヨーロッパにみる地方分権②ドイツ、フランス」世界最初の民主国家ドイツと合理化された議員内閣制の国フランスを取り上げた。	31人
3	9月25日 (土) (13:30～15:00)	「ヨーロッパにみる地方分権③イギリス」二大政党の草分けイギリスを取り上げた。	30人

・「みやぎ県民大学開放講座」

平成22年度の「みやぎ県民大学開放講座」(全4講座)は本館職員(個人とグループ)が担当し実施しました。[職員個人6人(内4人はグループ)と顧問1人による自主企画事業]

回	日時	内容	参加人数
1	11月6日 (土)	久光 洋一「工夫するとおもしろい。分析すると何かが見える。～算数と数学の違いと九九の不思議」 工夫すると数学が面白くなる。分析すると見えてくるものがある。九九の不思議を検証し、数学の面白さを紹介した。	40人
2	11月13日 (土)	阿部 頼人「書の私的鑑賞と創作への手がかり」 芸術作品を鑑賞し、目を養うことは書を志す者にとっては欠かすことのできない要素の一つ。ここでは様々ジャンルの書に触れ、自分なりの鑑賞法や自身の創作活動への試みを紹介した。	39人
3	11月20日 (土)	只野 雅美 渡邊 教子 梶本 哲弥 柴田 香織「時代(とき)をよむ～雑誌と歩んだ130年」 明治から平成までの約130年間に出版された雑誌をもとに、雑誌の出版文化、時代の動き、人々の暮らしの中で雑誌が果たしてきた役割などを読み解いて紹介した。	33人
4	11月27日 (土)	宮城県図書館顧問 伊達 宗弘「鎮守の杜と日本人の心の風景」 日本人は長い間、1年間の生活を「ハレ」「ケ」の使い分けによって営んできました。その中心の一つ鎮守の杜の歴史を巡りながら日本人の心の原風景に迫った。	35人

③ 利用しやすい図書館への工夫

a 情報発信の推進

・インターネットによる資料の予約

居住地域によらず県民一律のサービス拡充のため、特に予約サービス部門において改善を図るために、インターネットに接続されたパソコン、携帯端末、館内蔵書検索端末から貸出中の図書資

料等への予約申込ができる「Web予約サービス」を22年3月から導入し、これにより従来の固定電話や携帯電話以外の連絡方法としてメールも利用可能となり、利用者にとってもより利用しやすくなりました。

・新着図書案内

新着図書に付随する帯を文学・ノンフィクション等に分け紹介し紹介しました。

新たに受け入れた本の目録(「新刊図書等のご案内」)を作成し紹介するとともに、ホームページにも掲載しました。(年間40回)

号外として「子どもの森・本のいずみプラス」を発行し、新しく入った児童図書を紹介しました。同じくホームページにも掲載しました。

・「私の1冊」展示

毎月、職員による本の紹介(「私の一冊」(年間11回)をしました。利用者の利便性の向上、さらには職員の資料に対する一層の意識の向上につながりました。

期 間	テーマ
平成22年 4月 1日 ～ 5月 5日	「作家の猫」
平成22年 5月 6日 ～ 6月5日	「人生は、楽しい謎に満ちている。」
平成22年 6月 8日 ～ 7月 4日	「暁の密使」他
平成22年 7月 6日 ～ 8月 1日	「写真を撮ろう」
平成22年 8月 4日 ～ 9月 7日	「ささらさや」他
平成22年 9月 8日 ～10月 5日	「初めて自分で買った本」
平成22年10月 6日 ～11月 2日	「物語ではない村上春樹の世界」
平成22年11月 3日 ～12月 7日	「深夜特急 第1～第3便」
平成22年12月 8日 ～12月18日	「馬上少年過ぐ」
平成23年 1月 5日 ～ 1月27日	「空を泳ぐキカイ」
平成23年 2月8日～ 3月17日	「本木昌造伝」

・特設コーナーの設置

テーマ別コーナーを設置し、時の話題や季節などに合わせた展示を実施しました。

また、平成22年が「国民読書年」であることにちなみ、嘱託職員により月ごとにテーマを設定し展示を行いました。

3階 一般図書コーナー

期 間	テーマ・紹介資料
平成22年 6月 2日～ 6月30日	「6月は食育月間です」 国で定めた「食育月間」にちなみ関連本を展示。
平成22年 7月 1日～ 8月31日	「石川啄木」 「一握の砂」出版100年に当たるため、啄木の関連本を展示。
平成22年 9月 1日～ 10月14日	「マーラー、ショパン、シューマン」 マーラー生誕150周年、ショパン生誕200年、シューマン生誕200年という記念の年に当たるため、3人の著名な音楽家の関連本を展示。
平成22年10月15日～ 12月15日	「柳田国男」 「遠野物語」の出版100周年であることから、著作及び関連本を展示。
平成22年10月15日～ 12月15日	「名著を出版当時の装幀で読む」 通常は閉架書庫に所蔵する資料のうち、視覚的に興味をそそられる日本の近代名著の初版本復刻版を展示。
平成22年12月17日～ 23年 2月27日	「惜別」 2010年に他界した作家6名の関連本を展示。

平成23年 3月 3日～ 5月31日	「ことば」 「ことばの使い方」及び「語源」に関する本を展示。
-----------------------	-----------------------------------

嘱託員による「国民読書年にちなんだ展示」

期 間	展示テーマ
平成22年 4月14日～ 5月 5日	「春を楽しむ」
平成22年 5月19日～ 6月 2日	「脳活」
平成22年 6月11日～ 7月11日	「ワールドカップサッカー」
平成22年 7月23日～ 8月20日	「怖い話・不思議な話」
平成22年 8月27日～ 9月17日	「職業探偵の探偵小説」
平成22年 9月24日～ 10月15日	「読書の秋」
平成22年10月22日～ 11月12日	「ノーベル賞」
平成22年11月19日～ 12月 3日	「NHK大河ドラマ」
平成22年12月17日～ 23年1月21日	「うさぎ」
平成23年 2月17日～ 3月17日	「世界遺産」

2階 子ども図書室特集コーナー

月	テーマ	月	テーマ	月	テーマ
4	がっこうだいすき	5	ともだちいっぱい	6	よるとつき
7	なつやすみ!	8	おぼけ	9	あき
10	ネコ	11	ゆき	12	クリスマス・お正月
1	おにとまめ	2	ひなまつり・春	3	はる

1階 視聴覚資料展示コーナー

期 間	テーマ
平成22年 4月 1日～ 8月31日	クラシックを気軽に楽しむために
平成22年 9月 1日～10月20日	3階連動企画 ショパン、マラー、シューマン
平成22年10月21日～12月28日	聞きくらべてみよう! 特集 同じ作品名の曲 ～レナデ編
平成23年 1月 5日～ 4月30日	ピアノの魔術師 フランツ・リスト

・県内施設への視聴覚資料の提供

学校や社会教育施設への視聴覚資料の提供については、受け入れ側の調整（学校関係でいえば授業内容等の関係で視聴覚資料を児童・生徒に見せる時間が取れない等）の問題で、利用促進ができませんでした。

・施設見学の実施

学校や市民グループなどを対象とした施設見学は、それぞれの団体から申し込みを受け、保育所1、小学校7（2回来館1校）、高等学校7、支援学校3、大学4、一般12（2回来館1団体）団体の延べ34団体に実施しました。

平成22年度は、県内は迫桜高等学校の教員と生徒22人など延べ28団体879人、県外からは山形県東根市東郷公民館など6団体229人、合わせて延べ34団体1,108人が見学し、本館機能等について理解を深めました。

・広報活動の推進

宮城県図書館だより『ことばのうみ』は、第34号から第36号まで、3回発行し、一般県民をはじめ県立学校、大学等の関係機関及び全国都道府県図書館等に配布しました。

ホームページについては、逐次情報の更新を行ったほかメールマガジンを毎月発行しました。

月1回発行の子ども図書室だより「子どもの森・本のいずみ」を手作りで発行（140号～151号）しました。号外として「子どもの森・本のいずみプラス」を発行し、新しく入った本を紹介しました。

エフェムいずみ放送の番組「Lady, Go!」に毎月第2木曜日に職員が出演し、施設の利用案内、主催事業等について広報しました。

また、テレビ・ラジオ・新聞等のメディアを利用して随時広報を実施しました。

「ことばのうみ」録音版を音訳ボランティアに依頼して制作し、目の不自由な利用者に貸し出しました。

b 館内表示の工夫

3階一般開架書棚の南側にも配架本の表示を更新し、南北両側の通路から配架本がより分かりやすくしました。

また、複写機の利用方法表示などを改善しました。

2階児童資料研究室の配架方法を見直し、効率よく出納に対応できるよう整理しました。

1階視聴覚フロアの照明角度を変更しました。

c その他

館内エントランスに広報用掲示板を設置し、情報提供するなど環境改善を行いました。

(2) 情報の拠点としての図書館

① 市町村図書館等への支援・連携・協働

a 図書館資料の協力貸出の推進

・市町村図書館・公民館図書室等への支援

県民の求める資料を、住民に身近な市町村図書館等を通じて提供することによりありますが市町村図書館等への協力貸出資料は22,174冊で、前年度より少し減少しました。3月11日の震災により以降年度末までの協力貸出ができなくなったためですが、ほぼ県下全域のかたに利用されています。

b 図書館間の相互協力体制の充実

・資料の長期保存・分担収集等の検討

資料の長期保存は、限りある収蔵スペースに増加をたどる一方の図書資料をいかに長期にわたり収蔵していくかという図書館共通の課題です。このことについて、今後、公共図書館連絡会議で今後協議していくべき課題であるとの共通認識が得られました。

分担収集については、各館のさまざまな事情もありますので、次のステップとして時間をかけて検討協議していきたいと考えております。

・市町村図書館との情報共有

市町村図書館との連携を強化するため、公共図書館連絡会議及び公立図書館等連絡会議を各1回（6月と11月）開催しました。

会議では、相互貸借等に関する再確認、調整及び新規開館した柴田町図書館の報告、図書館協会解散後の相互貸借、利用者のマナー上問題と例についての情報交換、宮城県図書館情報ネットワークシステム（MY-NE T）活用方法等についての協議も行いました。会議のほかに、MY-NE Tの掲示板を活用し適時の情報交換を行いました。

協力貸出を迅速に進めるため、MY-NE Tへの加入を推進しておりましたが、柴田町図書館が加わり、参加館は42館（図書館31+公民館11）となりました。各館でのシステム上の改変や設定変更等に迅速な対応ができたことにより順調な運営ができました。

c 図書館の整備・運営に関する助言

・研修会の開催

市町村図書館及び公民館図書室職員等の資質の向上と専門知識の習得等を図るために、初任者研修会、勤続年数に応じた公共図書館等職員研修会Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ及び公民館図書室担当職員研修会を開催しました。

なお、公共図書館等職員研修会Ⅰは塩竈市「老番館」を会場としました。

公共図書館等初任者研修会（前期）

期日：平成22年 5月14日（金）（参加者：67人）

講義1：「図書館はこんなところ」

講師：宮城県図書館 柴田 香織

講義2：「著作権について」

講師：宮城県図書館 熊谷 慎一郎、  
増子 敦子

講義3・演習：「分類のしくみ」

講師：宮城県図書館 佐尾 博基

公民館図書室担当職員研修

期日：平成22年 7月 2日（金）（参加者：14人）

講義1：「レファレンス・サービスについて」

講師：宮城県図書館 熊谷 慎一郎

講義2：「県図書館の利用について」

講師：宮城県図書館 熊谷 慎一郎

講義3・演習：「修理について」

講師：岩沼市図書館 佐藤 あづみ

公共図書館等初任者研修会（後期）

期日：平成22年 8月27日（金）（参加者：43人）

講義・演習1：「児童サービスとは何か」

講師：宮城県図書館 岡本 真澄

講義・演習2：「レファレンス・サービスについて」

講師：宮城県図書館 楳本 哲弥



公共図書館等職員研修会Ⅰ  
期日：平成22年10月22日(金) (参加者：23人)  
講義1：「著作権制度の概要」  
講義2：「著作権制度の各論」

講師：放送大学ICT活用・遠隔教育センター  
教授 尾崎 史郎氏

公共図書館等職員研修会Ⅱ  
期日：平成22年11月5日(金) (参加者：20人)  
講義1：「障がい者サービスの理念とその利用者」  
講義2：「具体的サービスの紹介・著作権法を受けて図書館は何をすべきか」  
演習：「対面朗読」を体験しよう

講師：埼玉県立久喜図書館  
主任司書 佐藤 聖一氏

公共図書館等職員研修会Ⅲ  
期日：平成22年12月3日(金) (参加者：14人)  
講義：「レファレンス事例データの検証」  
演習：「レファレンス質問の処理と記録の作成」

講師：青山学院大学 教育人間科学部  
教育学科 教授 小田 光宏氏

#### ・人材の育成

本館職員が、県内市町村図書館等職員に対する研修会の講師を担当できるよう、日頃から司書職員を中心にOJT研修と自己研鑽を積み資質の向上に努めながら、平成22年度も研修の一部の講師を担当しました。

#### ・巡回相談の実施

市町村図書館の運営支援、情報提供のための巡回相談事業は、20館を対象に、各館あたり年間2回の巡回をしました。4月から5月にかけて第1回目の巡回相談を実施し、各館の職員体制、重点事業などの最新情報を収集し、9月から10月にかけては市町村図書館の地域内で刊行された資料の取扱いや図書館協会解散に伴う各種調整などに関する情報交換を行いました。

#### ② いつでもどこでもサービスを受けられる体制の充実

##### a 図書館情報ネットワークシステム(MY-NET)の整備 ・宮城県内図書館総合目録(横断検索)

宮城県内図書館総合目録(横断検索)については、当館のみならず県内の公共図書館・公民館図書室で活用され、レファレンスサービスや図書館間の資料の相互貸借業務の効率化に寄与しているほか、一般の利用者にも公開し、資料検索の利便性向上に寄与しています。

市町村で導入する図書館システムは多様なことから、常にシステム更新に関する情報収集を行い、速やかに参加館のシステム更新に対応して、安定運用を図ることができました。

また、総合目録へは県内28館が参加しておりますが、未参加の公共図書館へ参加の働きかけを行った結果、平成22年度に新たに3館が参加しました。

これにより総合目録システムはさらに有用なものとなります。このほか、県内の公共図書館が当該年度に受け入れることとした新聞・雑誌購入リストを作成・配布して、各館でレファレンスを実施する際に有用な情報として活用されています。

このように総合目録システム、新聞・雑誌購入リストとも、当館のみならず県内の公共図書館・公民館図書室で活用され、図書館間の資料の相互貸借業務の効率化に寄与しています。

##### ・次期システムの検討

現行の図書館情報ネットワークシステムは、平成19年度に更新し5か年の運用を予定しています。平成24年度に予定している次期システムの更新に向けた検討を、館全体で取り組むための体制の整備を図りました。

##### b 障がい者サービスの充実

###### ・郵送による貸出・返却サービス

郵送による貸出・返却サービスは、ホームページ等での広報や新規登録時の呼びかけを行い、新たに12人を加え現在543人の登録数となっています。登録者への貸出・返却業務は迅速に処理することができました。

図書の郵送貸出は、年間386件1,240冊、点字雑誌の貸出利用は45件112冊、朗読テープ、ビデオテープ、CD及びDVD等の郵送貸出数は474件1,645点でした。

###### ・録音図書、字幕・手話付きビデオ資料等の目録整備

録音図書、字幕・音声解説付きビデオ資料等整備については、計画的な整備に努めました。利用促進については、バリアフリ

ー映画の上映会も実施し、PRに努めました。

###### ・大活字本の収集

大活字本については、積極的に購入するように努め、22年度は127冊購入しました。

###### ・障がい者サービス担当者の育成

担当班内での職場研修(OJT)や市町村職員対象に実施した研修会(「障がい者サービス」及び「著作権」)への参加などにより、担当者の職務能力の向上に努めました。

###### ・音訳サービス

新聞のコラム、川柳、経済指標、テレビ・ラジオ欄、将棋及び週刊誌の記事の電話音訳を延べ204件(前年度比22件減)に行いました。

「ことばのうみ」録音版を音訳ボランティアに依頼して制作、目の不自由な利用者に貸し出しました。

雑誌の記事を選んで音訳ボランティアに依頼して制作している「声の情報誌」を目の不自由な方に対して貸し出しました。

そのほか、プライベートサービスとして目の不自由な利用者に音訳テープの作成、電話音訳を実施しました。

#### ③ 調査・研究に役立つ機能の充実

##### a 調査・研究に役立つ資料の収集

###### 調査研究に役立つ資料の収集

利用ニーズの高い「近代日本教育関係法令体系」「医学症候群事典」等7タイトルを宮城県教職員互助会から寄贈を受けて整備しました。

###### 課題解決に役立つ県内の施設の紹介

県民が調査・研究に利用できる全国公共図書館や大学図書館など類縁機関の「資料検索ツール」を本館ホームページのトップページで紹介しています。各類縁機関へのリンクを設定し、利用者自身が検索を行い、資料調査、所蔵館情報などにアクセスできる環境を整備しています。

##### b レファレンス事例の作成・公開

「宮城県図書館におけるレファレンス事例公開事業実施計画」(平成21年3月策定)に基づき、レファレンス事例について、平成21年4月から本館ホームページ及び国立国会図書館「レファレンス協同データベース」での一般公開を開始しました。本館では隔週2件ずつ更新し計44件を公開しました。また、10月からはメールマガジンでもレファレンス事例の配信を行いました。

国立国会図書館には計207件を追加登録、公開しました。これにより本館の公開事例の累計は496件となり、被参照件数58,648件は「レファレンス協同データベース」事業参加館(537館)において第17位の実績となりました。

公開事例の編集にあたっては「レファレンス事例編集ガイドライン(第1版)」を作成して、職員研修を継続的に実施しました。

#### (3) 次世代を育成する図書館

##### ① 郷土関係資料の維持・充実

###### a 宮城に関する資料の収集と整備

###### ・宮城に関する資料の収集

郷土関係資料は主題(テーマ)による収集を計画的に進め、平成22年度は1,395点を受け入れ、利用者に提供しました。

重点テーマとしては鳴子温泉観光協会などが発行した地元学関係資料や郷土食文化関係資料などの収集に努めました。

###### ・郷土関係論文データベースの充実

「郷土関係論文データベース」に目録情報を登録し、ホームページで公開しています。平成22年度は1,950件の目録データを登録し、総データ数3万件を超えました。また、平成22年度緊急雇用創出事業を活用し、『仙臺人名大辞書』と『伊達文庫目録』の電子情報化を行いました。

あわせて、本館第30代館長 佐々久氏(1909～1989年/郷土史家)旧蔵の和漢書を整理し、「佐々文庫和漢書目録」を作成しました。

###### b 宮城県の行政資料収集と行政課題に関する情報提供

###### ・行政資料の収集

宮城県に関する行政資料110タイトルを収集し、総タイトル数1,995を整備しています。特に、県内市町村発行の地震災害関係資料や防災関係資料の収集に努めました。

また、宮城県経済商工観光部発行の「働く女性のハンドブック」「中小企業融資制度のごあんない」等の資料も提供しました。

###### ・県職員向けの情報発信

県庁各担当からの問い合わせには、調査を行い、資料提供を行いました。東日本大震災(3月11日発生)に際しては、関係法令

や施策に関する専門雑誌などを貸し出しました。

## ② 子どもの読書環境の充実

### a 読書環境の整備充実

#### ・新刊児童図書の紹介

第41回子どもの本展示会を 4月17日から29日まで開催し、延べ786人の入場者がありました。

開催期間	会場	入場者数
4月17日(土)～29日(木)	ホール養賢堂	延べ 786人

#### ・子どもの本移動展示会（県内市町村図書館向け）の開催

現在、本県では子ども読書活動推進計画を実施しており、同計画の趣旨を踏まえ、次代を担う子どもと本との出会いの機会を、より多くつくる試みです。

県内公共図書館・公民館図書室への移動展示会を行い、18会場で延べ3,860人の入場者がありました。

#### ・子どもの本移動展示会（県内小学校向け）の開催

小学校への移動展示会は、仙台市を除く希望校80校で開催し、入場者は11,979人ありました。

#### ・児童資料の充実

児童資料については、新刊図書を中心に発達段階や各分野にわたり収集しました。

冊数や心に残る本を記録する「ブックツリーカード」（読書記録カード）を配布しました。

利用者から「おすすめの本1冊」を募集、子ども図書室に紹介紹介をしました。

#### ・児童図書サービス担当者の育成

毎月1回、職員による「読み聞かせ会」を実施し、担当職員の技能向上に努めました。

### b 読書活動の理解の促進

#### ・「国民読書年記念読み聞かせ講座」の実施

国民読書年を記念して、県内市町村図書館や公民館で読み聞かせを行っている職員、またはこれから始めようとしている職員と、乳幼児検診などの際に読み聞かせを行っている行政職員を対象に読み聞かせ講座を実施しました

講師には、本館読み聞かせボランティアの鶴飼信好氏を迎え、全3回で延べ88名の市町村職員などが参加しました。現役のボランティアが講師を務めた講座は、実践に即した的確なアドバイスがあり、とても有意義なものでした。

#### ・各種事業の実施

##### おはなし会・紙芝居上演会

「おはなし会」などをボランティアの協力も得て定期的に開催し（88回）、多くの参加があり読書への関心を高めました。図書館へ足を運ぶ契機となり、親子で本に親しむ機会ともなって、十分な効果が上げられました。

#### ・「子どもの森・本のいずみ」の発行

月1回発行の子ども図書室だより「子どもの森・本のいずみ」を手作りで発行（140号～151号）しました。また、号外として「子どもの森・本のいずみプラス」を発行し、新しく入った本を紹介しました。来館者及び県内図書館等に配布し、ホームページにも掲載しました。毎月購入した資料を確認できるため、子どもたちの読書への意欲を喚起できました。

#### ・テーマ展示（再掲）

毎月のテーマを選び、関連する本を展示しました。

※内容省略

#### ・総合的な学習への支援

「職場体験」を積極的に受け入れ、図書館業務を体験させることにより、子どもたちの総合的な学習の支援ができました。中学校6件、高等学校4件、その他2件、延べ36人の受入をしました。

### ③「宮城県図書館次世代育成プロジェクト」の推進

#### 22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業について

この事業は、宮城県図書館に継承された知の集積を活用し、次代を担う人たちに自信と誇りをもって語れるふるさとや日本の歴史や文化をしっかりと伝えていこうとする、平成16年度より進めている総合戦略プロジェクトです。

「貴重資料修復保存」と「次世代育成プロジェクト」の2つの部門で構成しています。「貴重資料修復保存」は貴重資料の体系的学術調査、修復保存、デジタル画像や複製資料の作成が主な内容です。

「次世代育成プロジェクト」は、図書館の知的財産、人的資源を人材育成に活用しようとするもので、複製資料の高等学校等への貸し出し、貴重資料の展示会、子どもの本展示会、プロジェクト22などが主な内容となっております。

### a 図書館の知的財産の活用

#### ・複製資料の貸出

本館貴重資料の複製資料を、県内高等学校、市町村図書館等に貸し出し授業や展示会で活用するものです。

高等学校には5校に貸し出しました。そのうち迫桜高等学校では文化祭に活用されました。

貴重資料の複製資料のほか『源氏物語絵巻』『枕草子』等、古典文学複製資料を、平成22年度は富谷高等学校、涌谷高等学校など10校と、若柳公民館に貸し出し、名取高等学校では文化祭など学校行事で活用されました。

『東海道五十三次』『名作日本の風景版画』など、浮世絵の複製資料を、平成22年度は、県立高校では仙台東高等学校、田尻さくら高等学校など3校と利府町図書館に貸し出しました。

#### ・貴重資料の専門調査の実施

平成22年度（第8次調査）は、専門調査員2人により、延べ8日間実施しました。『国絵図』関係資料については1月21日・29日のほか計6日にわたって、専門調査員の鶴飼幸子氏（仙台市史編纂室長）に調査していただき、関係文書目録作成について指導を受けました。

「関算四伝書」等和解資料については、2月4日・5日の2日間、佐藤賢一氏（電気通信大学准教授）に、本館が所蔵する科学資料の体系について調査していただき、報告書を作成しました。

#### ・貴重資料の保存修復

平成22年度は「国絵図」の中から『陸奥国仙台領際絵図 出羽国秋田領之方』『福島領際絵図 仙台領境』（計2冊）を修復しました。また、古典籍の利用者用代替資料（マイクロフィルム）の劣化に対応するため、再整備事業を実施しました。平成22年度は『奥州名所図絵』『道中記』など地誌関係の古典籍マイクロフィルム41本を複製し、7本にまとめて収録しました。これを利用することで適切な資料提供が確保されました。

#### ・企画展示会の開催

平成22年度の「特別展」及び「企画展」として次のとおり展示開催しました。

##### 特別展

回	開催期間	タイトル
1	平成22年3月13日(土)～6月30日(水)	「立版古～江戸・明治の飛び出す錦絵～」
2	平成22年7月17日(土)～12月18日(土)	「時代(とき)をよむ～雑誌と歩んだ130年～」
3	平成23年1月15日(土)～6月30日(水)	「宮城に眠る玉手箱～のぞいてみよう児童資料の世界～」

##### 企画展

回	開催期間	タイトル
1	平成21年11月11日(水)～22年6月30日(水)	「判じ絵にチャレンジ～判じてごろうじろ～」
2	平成22年7月17日(土)～9月30日(木)	「宮城県図書館で化石を探そう！」
3	平成22年9月1日(水)～9月30日(木)	「まるで人間みたい？本にも『背』や『のど』があるんです～本は大切に扱いましょう～」
4	平成22年10月1日(金)～12月28日(火)	「算額～江戸時代に東北で栄えた数学芸術～」

#### ・貴重資料のデジタル画像の公開

「貴重資料修復保存事業」の成果と意義、及び貴重資料の価値を広く県民に公開することを目的に、本館ホームページ「叡智の杜Web」でデジタルデータを公開しています。

#### ・子どもの本移動展示会（県内市町村図書館・小学校向け）の開催（再掲）

現在、本県では子ども読書活動推進計画を実施しており、同計画の趣旨を踏まえ、次代を担う子どもと本との出会いの機会を、より多くつくる試みです。

平成22年度は、市町村図書館、公民館図書室では計18館で開催され、入場者数は3,860人ありました。

小学校への移動展示会は、仙台市を除く希望校80校で開催し、入場者は11,979人ありました。多くの学校から次年度以降も開催を望む声が寄せられています。

**b 図書館の人的資源の活用**

- ・『プロジェクト 22』—宮城県図書館活用推進事業—の展開  
※内容省略
- ・特別事業「館長講座」(再掲)  
「ヨーロッパからみた地方分権」と題して3回にわたり講演しました。  
※内容省略
- ・「みやぎ県民大学開放講座」(再掲)  
※内容省略
- ・総合的な学習への支援(再掲)  
※内容省略
- ・施設見学の実施(再掲)  
※内容省略

・「図書館親子ツアー」

「図書館親子ツアー」を夏休み中の子どもたちを対象に2回実施しました。

回	日 時	内 容	参加人数
1	8月4日(水)	閉架書庫の案内、 所蔵資料の紹介	親子 8組 (計 17人)
2	8月7日(土)		親子 5組 (計 13人)

※東日本大震災の被災状況

人的被害 なし(負傷者なし)  
被災時 利用者350名, 職員等県関係81名,  
業務委託業者17名

**6 平成22年度図書館資料利用状況等(統計)**

(1) 受入資料一覧表

表5-11表 図書・視聴覚資料

(現在高=平成23年3月末の蔵書数)

区分	購入	寄贈	その他	合計	除籍等	引増減	現在高
一般図書	6,895	1,055	150	8,100	7,959	141	667,310
洋書	6	5	3	14	39	-25	17,047
ハングル資料				0	1	-1	2,075
中国書				0	0	0	5,790
一般図書等 小計	6,901	1,060	153	8,114	7,999	115	692,222
貸出用児童書	2,374	24	39	2,437	1,159	1,278	65,913
保存用児童書	2,324	156	2,116	4,596	1,112	3,484	95,275
保存用紙芝居			2,395	2,395	0	2,395	2,395
貸出用紙芝居	7	3	68	78	0	78	926
街頭紙芝居				0			5,333
教育紙芝居				0			1,473
児童資料 小計	4,705	183	4,618	9,506	2,271	7,235	171,315
郷土資料	266	1,129		1,395	10	1,385	59,870
和古書				0			38,417
漢籍				0			18,886
地図資料	107	1		108	0	108	9,732
電子図書				0			922
マイクロフィルム	135	1		136	0	136	16,972
郷土資料等 小計	508	1,131	0	1,639	10	1,629	144,799
館外用図書				0			3,590
図書資料小計	12,114	2,374	4,771	19,259	10,280	8,979	1,011,926
16mmフィルム				0			1,683
録画テープ(Uマチック)				0			24
録画テープ(ベータ)				0			30
録画テープ(VHS)				0	470	-470	13,082
8mmフィルム				0			18
CD-ROM(主に映像)				0			341
レコード				0			1,320
コンパクトディスク	87	37	5	129	256	-127	16,109
楽譜	13		1	14	947	-933	8,858
レーザーディスク				0			950
DVDビデオ	270	34	27	331	6	325	3,007
カセットテープ	2			2	86	-84	4,533
オープンリールテープ				0			773
スライドフィルム				0			1,174
ELIB				0		0	99
視聴覚資料小計	372	71	33	476	1,765	-1,289	52,001
総計	12,486	2,445	4,804	19,735	12,045	7,690	1,063,927

第5-12表 逐次刊行物

区分	配架場所	所蔵タイトル数	うち年間受入タイトル数			
			うち購入	うち寄贈他	うち外国語	
雑誌 (紀要を含む)	新聞雑誌室	9,460種	1,557種	368種	1,189種	17種
	みやぎ資料室	2,692種	409種	10種	399種	
	子ども図書室	270種	35種	16種	19種	
	小計	12,422種	2,001種	394種	1,607種	17種
年鑑・年報	新聞雑誌室	3,316種	569種	243種	326種	
	子ども図書室	21種	3種	1種	2種	
	小計	3,337種	572種	244種	328種	
行政資料	新聞雑誌室	2,907種	500種	187種	313種	
	みやぎ資料室	1,995種	110種	0種	110種	
	小計	4,902種	610種	187種	423種	
新聞	新聞雑誌室	657種	80種	53種	27種	1種
	みやぎ資料室	200種	12種	0種	12種	
	子ども図書室	4種	1種	1種	0種	
	小計	861種	93種	54種	39種	1種
計		21,522種	3,276種	879種	2,397種	13種
前年度		21,085種	3,452種	849種	2,603種	13種

\*子ども図書室には児童資料研究・相談室分を含む

## (2) 開館日数・入館者数・個人貸出冊数・調査相談件数

第5-13表

区分	開館日数	入館者数	1日平均 入館者数	個人貸出 冊数	1日平均 貸出冊数	調査相談 件数
22年度計	284日	458,562人	1,621人	816,159冊	2,874冊	46,732件
前年度計	296日	496,501人	1,677人	903,075冊	3,051冊	33,220件
増減	-12日	-37,939人	-56人	-86,916冊	-177冊	+13,512件

\*東日本大震災により3月12日から3月31日まで休館

## (3) 利用登録者数

第5-14表

	22年3月末現在	23年3月末現在
利用登録者数	251,682人	258,521人
対前年比	+8,540人	+6,839人
新規登録者数	7,991人	6,867人

\*対前年比には、新規登録による増加のほか、県外転居等による減少を含む

## 居住市町村別内訳

第5-15表 ○利用登録者数

	平成22年3月末現在		平成23年3月末現在	
	登録者数	構成比	登録者数	構成比
仙台市	191,754人	76.1%	196,724人	76.1%
(内訳) 青葉区	61,986人	24.6%	63,701人	24.6%
宮城野区	18,058人	7.2%	18,428人	7.1%
若林区	7,906人	3.1%	8,088人	3.1%
太白区	17,388人	6.9%	17,715人	6.9%
泉区	86,416人	34.3%	88,792人	34.3%
富谷町	17,298人	6.9%	17,934人	6.9%
大和町	5,976人	2.4%	6,196人	2.4%
大崎市	5,250人	2.1%	5,420人	2.1%
利府町	4,579人	1.8%	4,711人	1.8%
多賀城市	3,938人	1.6%	4,062人	1.6%
名取市	3,646人	1.4%	3,752人	1.5%
塩竈市	2,751人	1.1%	2,826人	1.1%
その他	16,490人	6.6%	16,896人	6.5%
合計	251,682人	100.0%	258,521人	100.0%

第5-16表 ○個人貸出冊数

	平成21年度		平成22年度	
	貸出冊数	構成比	貸出冊数	構成比
仙台市	705,159冊	78.1%	640,543冊	78.5%
(内訳) 青葉区	204,495冊	22.7%	186,589冊	22.9%
宮城野区	27,734冊	3.1%	24,998冊	3.1%
若林区	7,442冊	0.8%	7,284冊	0.9%
太白区	20,237冊	2.2%	19,200冊	2.4%
泉区	445,251冊	49.3%	402,472冊	49.3%
富谷町	102,976冊	11.4%	95,384冊	11.7%
大和町	30,108冊	3.3%	27,382冊	3.3%
大崎市	12,496冊	1.4%	10,901冊	1.3%
利府町	11,059冊	1.2%	8,806冊	1.1%
多賀城市	4,585冊	0.5%	4,344冊	0.5%
名取市	3,548冊	0.4%	3,353冊	0.4%
塩竈市	4,050冊	0.5%	2,922冊	0.4%
その他	29,094冊	3.2%	22,524冊	2.8%
合計	903,075冊	100.0%	816,159冊	100.0%

分類別蔵書冊数及び個人貸出冊数

第5-17表

(単位:冊, %)

	一般図書											外国語資料	郷土資料	児童資料	視聴覚資料	その他	計
	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	未分類他						
蔵書冊数	28,511	36,532	76,708	124,386	46,878	45,383	28,174	60,161	12,236	168,944	2,275	22,389	144,799	171,315	52,001	43,235	1,063,927
構成比*1	2.7	3.4	7.2	11.7	4.4	4.3	2.6	5.7	1.2	15.8	0.2	2.1	13.6	16.1	4.9	4.1	100.0
構成比*2	4.5	5.8	12.2	19.8	7.5	7.2	4.5	9.6	1.9	27.0							100.0
前年度計	28,312	36,736	75,936	124,328	46,714	45,185	27,946	59,674	12,476	170,604	2,360	24,938	115,788	164,080	53,290	68,230	1,056,237
増減	199	156	772	58	164	198	228	487	-240	-1,660	-85	-2,549	29,011	7,235	-1,289	-24,995	7,690
貸出冊数	6,573	23,231	35,823	50,006	30,315	39,047	16,524	42,127	7,257	166,569	66,908	1,470		196,307	134,002		816,159
構成比*1	0.8	2.8	4.4	6.1	3.7	4.8	2.0	5.2	0.9	20.4	8.2	0.2		24.1	16.4		100.0
構成比*2	1.6	5.6	8.6	12.0	7.3	9.4	4.0	10.1	1.7	39.7							100.0
前年度計	7,648	24,508	36,621	54,547	34,440	44,687	19,357	45,723	7,637	180,363	75,403	1,591		208,225	162,325		903,075
増減	-1,075	-1,277	-798	-4,541	-4,125	-5,640	-2,833	-3,596	-380	-13,794	-8,495	-121		-11,918	-28,323		-86,916

構成比\*1: 対総数での構を算出したもの

構成比\*2: 一般図書のうちNDC分類付与済みの資料内での構成比を算出したもの

(5) 古書閲覧及び特別利用

第5-18表

(単位:件,冊)

	閲覧利用	特別利用									計
		特別貸出	撮影	出版	掲載	翻刻	ビデオ	放送	装飾		
22年度計	利用件数	100	37	13	6	54	1	0	6	0	117
	利用冊数	725	80	46	7	123	1	0	11	0	268
前年度計	利用件数	76	32	7	0	85	2	0	10	0	136
	利用冊数	1,388	83	202	0	105	2	0	19	0	411

(6) 調査相談の利用

第5-19表

(単位:件)

	電話	文書	E-mail	口頭	その他	計
22年度計	3,914	139	200	42,479	0	46,732
前年度計	3,139	126	169	29,785	1	33,220

(7) 文献複写の利用

○種類別枚数

第5-20表

(単位:枚)

種別	枚数
電子複写	白黒 (134,497)
	カラー (505)
マイクロフィルム	18,458 (28,460)
写真撮影	7,514 (1,533)
計	148,422 (164,995)
月平均	12,369 (13,750)

○受付窓口別枚数

第5-21表

(単位:枚)

種別	枚数
一般図書 カウンター	16,585 (18,751)
調査相談 カウンター	18,127 (19,561)
新聞雑誌室	55,450 (64,693)
みやぎ資料室	50,746 (60,457)
計	140,908 (163,462)

( ) は前年度

## (8) 図書館間の相互協力

第5-22表 協力貸出冊数 (単位:冊)

図書館名	21年度	22年度
仙台市民	857	763
仙台市広瀬	146	160
仙台市宮城野	291	302
仙台市榴岡	202	156
仙台市若林	328	340
仙台市太白	582	465
仙台市泉	594	604
石巻市	839	461
塩竈市民	593	476
気仙沼市	470	481
(気仙沼市) 本吉町	260	107
白石市	622	706
名取市	1,129	1,152
角田市	678	869
多賀城市	931	962
岩沼市	555	288
登米市立迫	748	736
登米市立登米	162	166

図書館名	21年度	22年度
栗原市立	837	827
東松島市	544	591
大崎市	981	883
柴田町	—	618
蔵王町立	905	1,042
丸森町立金山	33	7
亘理町立	612	796
利府町	975	776
加美町中新田	364	145
加美町小野田	752	402
美里町小牛田	1,371	1,221
美里町南郷	152	147
南三陸町	380	527
小計	17,893	17,176
公民館図書室等	6,669	4,998
県外図書館等	1,172	1,026
合計	25,734	23,200

第5-23表 協力貸出冊数 (県外図書館等内訳)

都道府県	21年度	22年度
北海道	305	161
青森	112	102
岩手	194	142
秋田	92	93
山形	132	117
福島	87	111
茨城	11	9
栃木	4	26
群馬	8	8
埼玉	25	17
千葉	32	30
東京	9	24
神奈川	8	4
新潟	17	22
山梨	3	5
長野	0	6
静岡	6	9
富山	5	2
石川	1	2
福井	1	0
岐阜	1	3
愛知	19	16
三重	27	22

(単位:冊)

都道府県	21年度	22年度
滋賀	10	10
京都	9	13
大阪	13	12
兵庫	3	2
奈良	2	0
和歌山	0	1
鳥取	3	2
島根	0	1
岡山	7	15
広島	1	4
山口	0	1
徳島	0	3
香川	2	1
愛媛	5	6
高知	0	2
福岡	2	12
佐賀	1	1
長崎	11	1
熊本	0	2
大分	0	0
宮崎	2	2
鹿児島	0	0
沖縄	2	4
計	1,172	1,026

第5-24表 月別相互貸借冊数・文献複写件数・協力レファレンス件数

(単位:冊,件)

	貸出冊数			貸受冊数				文献複写受付件数			文献複写依頼件数				協力レファレンス受付件数		
	県内へ	県外へ	計	県内から	県外から	国会から	計	県内から	県外から	計	県内へ	県外へ	国会へ	計	県内から	県外から	計
22年度計	22,174	1,026	23,200	761	119	21	901	129	641	770	27	118	81	226	102	24	126
前年度計	24,562	1,172	25,734	750	172	12	934	65	245	310	3	33	284	320	93	44	137

第5-25表 貸出依頼件数

	平成21年度	平成22年度	平成22年度の内訳	
			県内分	県外分
貸出依頼件数	26,024件	23,330件	22,245件	1,085件
処理状況	所蔵件数	25,255件	22,762件	1,026件
	購入	479件	438件	0件
	借受・他館紹介等	91件	5件	0件
	提供不可	199件	125件	66件

(9) 障がい者サービス

第5-26表 郵送貸出の利用

	新規登録		郵送貸出資料別									
			図書	朗読テープ	デジ版	点字雑誌	ビデオ	CD	DVD	楽譜その他	合計	
22年度計	29人	利用件数	386件	226件	36件	45件	31件	169件	9件	3件	905件	
		利用冊数	1,240冊	296タイトル	896点	10タイトル	36冊	112冊	111点	590点	9点	3点
前年度計	29人	利用件数	432件	243件	36件	51件	42件	97件	12件	1件	914件	
		利用冊数	1,304冊	322タイトル	863点	12タイトル	36冊	126冊	137点	334点	12点	1点

第5-27表 音訳サービスの利用及び調査相談件数

		音訳サービス								調査相談件数
		朗読テープの作成		対面朗読		電話音訳		計		
		職員	ボランティア	職員	ボランティア	職員	ボランティア			
22年度計	実施件数	34件	39件	0件	0件	71件	133件	277件	649件	
	のべ時間	68.0時間	274.0時間	0.0時間	0.0時間	28.9時間	213.6時間	584.5時間		
前年度計	実施件数	50件	55件	0件	2件	82件	171件	360件	764件	
	のべ時間	115.5時間	650.0時間	0.0時間	8.0時間	27.2時間	144.0時間	944.7時間		

(10) 施設見学状況

第5-28表

	施設調査		一般見学		児童生徒見学		うち開架書庫見学		調べ学習		職場体験		合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
22年度計	2	80	23	576	11	532	19	470	0	0	12	36	48	1,224
前年度計	3	52	9	240	17	373	3	73	2	11	6	17	37	693

## 第7節 宮城県松島自然の家

### 1 目標

奥松島に位置する広大な敷地と恵まれた自然環境のもと、自然体験・野外活動・スポーツ・研修等とおして県民の心身の健全な発達と明るく豊かな生活の形成を図る。

### 2 目標達成のための指針

#### (1) 特色ある事業の計画と運営

- ① 県民の一人ひとりが、自然体験や野外活動等とおして、豊かで生きがいのある生活を促進するため、精神的な充足感や新たな自己発見ができる企画運営を行う。
- ② 青少年が自然とのふれあいをとおして「自ら学ぶ力」や「たくましく生きる力」そして「他を思いやる心」を身につけられる企画運営を行う。
- ③ 休日や余暇を利用した家族やグループが、ふれあいと交流を深めることができる企画運営を行う。
- ④ 特別に支援を要する児童生徒やその家族、関係者等への野外活動体験を推進する。
- ⑤ 地域関係団体との連携による事業を推進するとともに、新たな活動プログラムの開発に努める。

#### (2) 自然体験・野外活動・スポーツ・研修等の自主的・計画的な実践への効果的な支援

- ① 県民の学習ニーズに対応した快適な野外活動の場の提供と宿泊研修を主体的に進めるための支援を行う。
- ② 「利用者事前打合せ」をとおし、十分な情報提供と円滑な利用者調整に努める。
- ③ ゆとりある活動プログラムを企画できるように助言するとともに、実践活動ではきめ細やかな支援に努める。

#### (3) 利用者が満足できるサービスの実施

- ① 文書や訪問による広報とちらしやリーフレット、ホームページを活用した施設利用の啓発・促進を図る。
- ② 専門性を高めるための職員研修を積極的に進める。
- ③ 常に施設・設備の安全点検を行い、防火防災・安全対策等の危機管理体制の機能向上に努める。

#### (4) 重点努力目標

- ① 幼児教育（保育所・幼稚園児）のための自然体験活動を推進する。
- ② 主催事業の「ファミリーキャンプ体験版」等において、野外活動と家族間交流活動への興味・関心を高められるような企画運営を行う。
- ③ 特別に支援を要する児童生徒とその家族や関係者の自然体験活動を推進する。
- ④ 各種団体、子ども会や家族、グループ等の自然体験活動を促進する。
- ⑤ 職員の研修活動及び調査研究を推進する。
  - ア 心身にハンディを有する方に対する活動プログラム及び施設設備の充実についての研修
  - イ 利用者へのアンケートの実施と評価、分析
  - ウ 自然体験活動の効果分析及び評価方法の検討
  - エ 体験活動プログラムの研究開発

・年間を通した恒常的プログラム

・団体種別、年齢や心身の発達段階に応じたプログラム  
・所内研修の充実

⑥ 児童生徒に豊かな心と生きる力を育む体験活動を提供するため、学校との連携・融合を図り、体験学習を支援するセカンドスクール事業を推進する。

⑦ その他

ア 冬期間における利用促進と主催事業の拡充に努める。  
イ より効果的な利用者サービスの在り方を研究する。

#### (5) 利用団体について

- ① 「指導者または責任者がはっきりしていて、活動計画のもとに利用する団体及びグループ」の方針ののっとり、特に、週休日を利用した家族で気軽に利用できるように努める。
- ② 学校の夏季休業中以外の、日帰り利用の促進を図る。
- ③ 持ち込みテント利用は通年とし、利用者のニーズに柔軟に対応できるようにする。

#### (6) 利用団体への対応について

- ① 利用団体との事前打合せを十分行い、団体の目的に応えられるよう支援していく。
- ② 標準生活時程表を基本とするが、可能な範囲内で柔軟に対応する。
- ③ 利用団体の自主性を尊重した活動になるよう支援していく。

#### (7) 活動プログラムについて

- ① 自然体験や自然に親しむ活動のふれあいを通して、連帯感を育てよう支援していく。
- ② 自然環境を活かした活動プログラムの開発に努める。
- ③ 地域（東松島市、宮戸漁協等）との関わりのある活動プログラムを推進するとともに、一層のプログラム開発に努める。

### 3 組織と予算

#### (1) 職員の構成

所長 — 研修支援班長 — 事務職員（2）  
技師（栄養士）（1）  
社会教育主事（4）  
計9人

#### (2) 予算（単位：千円）

項目	金額
管理費	31,317
事業費	2,291
施設設備費	807
合計	34,415

#### (3) 収容人数

キャンプ場（テント）376人  
宿泊室 92人

### 4 事業概要

#### (1) 主催事業

##### 第5-29表

No	事業名	期日	対象及び参加人数	ねらいと内容
1	アウトドアセミナーⅠ 「家族のためのアウトドア入門」	5月15日（土） ～16日（日）	県民一般（家族対象） （17家族，76人）	野外活動及びニュースポーツの体験活動を通して、家族の絆を深めるとともに参加者相互の交流を図り、県民の健康・体力づくりへの関心と意欲を高める。
2	アウトドアセミナーⅡ 「女性のためのアウトドア入門」	6月5日（土） ～6日（日）	県民一般（20歳以上の成人女性） （16人）	テントでのキャンプ体験やアウトドアクッキング等の野外活動を通して、参加者相互の交流を図るとともに、自然に親しみ健康・体力づくりへの関心と意欲を高める
3	アウトドアセミナーⅢ 「アウトドアスキルアップセミナー」	6月19日（土） ～20日（日）	県民一般（18歳以上のアウトドア愛好者） （8人）	野外活動に関する基礎的理論、技能の習得、キャンプ体験を通して、キャンプ技術のスキルアップと野外活動指導者の育成と資質の向上を図る。
4	ファミリーキャンプ体験版	7月3日（土） ～4日（日）	県民一般（家族単位） （38家族，137人）	施設の常設テントに宿泊し、家族でキャンプ生活や釣り、サイクリング、野外炊飯等々を体験することにより、野外活動への関心と意欲を高める。



5	みやぎ子どもアドベンチャー (青少年長期自然体験活動推進事業)	8月1日(日) ～7日(日)	小学5年生～中学3年生 (36名)	「奥松島」の大自然の中で、県内の子どもたちが、共同生活や各種の体験活動を通して交流を深めるとともに、たくましく生き抜く力や自主性・協調性などの育成を図る。(無人島探検、移動キャンプ、野外炊飯、サイクリング、いかだ遊び、漁業体験、塩づくり・火おこし体験、絵はがきづくり、貝殻細工等々)
6	ハートフル潮風	8月21日(土) ～22日(日)	心身に障害のある児童・生徒とその親(小・中・高校生) (70人)	心身に障害のある児童生徒が自然散策や野外炊飯などの野外活動を通して、小・中学生と交流を図りながら社会性や忍耐力、創造性を培い、心身の健康増進を図るとともにノーマライゼーション社会を意識させる。
7	アウトドアフェスティバル兼自然の家オープンデー	10月3日(日)	県民一般 (716人)	各種野外活動から自分で選択したものを体験することにより、自然の良さを実感し、健康や体力づくりへの関心と意欲を高める。松島自然の家を広く子どもや家族等に開放し、ハイキング、サイクリング、自然観察、ニュースポーツなどを通して、自然の家への理解と利用の促進を図る。
8	フィッシング入門	① 10月30日(土) ～31日(日) ② 11月3日(土)	小学4年生以上の子供とその親及び成人釣り初心者 (52人)	奥松島の景観を堪能しながら船釣りの楽しさを味わい、親子のふれあいや参加者相互の交流と親睦を深める。
9	親子でチャレンジ	12月4日(土) ～5日(日)	子供とその家族 (21家族 77人)	奥松島の冬の味覚を親子で賞味しながら、海苔づくり、カキむき体験を通して、親子のふれあいや他家族との交流・親睦を深める。
10	おいSEA! 冬の奥松島	① 12月19日(日) ② 1月8日(土) ③ 2月5日(土) ～6日(日) ④ 2月20日(日)	県民一般 (家族単位、個人参加も可) ①(76人)②(49人)③(71人) ④(66人)	冬の奥松島の海の幸について理解を深め、海苔づくり、塩づくり、海鮮バーベキュー等の活動を通して、交流を深める。
11	MAP体験会	5月25日(火)	社会教育関係者、教員等 (14人)	MAPの基本的な考え方について学習するとともに、実際の体験活動を通してMAPの楽しさを味わう。
12	みやぎ県民大学 秋の奥松島ウォーキング	10月7日(木) ～28日(木)	県民一般 (29人)	奥松島の自然の中でウォーキングやノルディックウォーキングを体験し、心身共にリフレッシュするとともに、健康体力作りを図る。

(2) 利用状況  
第5-30表

項目 月	開所 日数 (日)	利用 日数 (日)	宿泊可能 日数 (日)	宿泊利用 日数 (日)	利用団体 数 (団体)	利用者実数					利用者 延人数 (人)	宿泊 利用者 延人数 (人)	宿泊者 延人数 (人)	日帰り研修	
						利用者延人数								団体 数 (団体)	延 人 数 (人)
						中学生 以下 (人)	高校生 等 (人)	引率者 (人)	一般 (人)	合計 (人)					
4月	26	26	22	18	32	649	747	155	549	2,100	3,130	2,104	1,030	13	1,026
						1,138	894	246	852	3,130					
5月	26	26	21	26	69	950	38	150	829	1,967	3,535	2,704	1,196	22	831
						1,844	114	295	1,282	3,535					
6月	26	26	21	20	52	1,204	11	211	715	2,141	3,959	3,158	1,818	12	801
						2,626	21	435	877	3,959					
7月	27	27	23	22	74	1,867	29	375	1,115	3,386	5,952	4,887	2,566	17	1065
						3,505	51	756	1,640	5,952					
8月	25	25	25	25	141	1,198	92	227	1,265	2,782	5,756	4,988	2,938	31	768
						2,459	216	424	2,657	5,756					
9月	26	26	22	22	68	1,380	15	1,041	942	3,378	5,128	3,411	1,750	26	1,717
						2,438	21	1,429	1,240	5,128					
10月	27	25	27	15	51	698	134	192	1,070	2,094	3,001	1,658	907	30	1,343
						1,062	234	284	1,421	3,001					
11月	25	19	21	7	31	483	178	86	514	1,261	1,615	788	354	20	827
						735	194	128	558	1,615					
12月	24	11	20	5	22	199	56	65	258	578	838	570	260	13	268
						317	124	77	320	838					
1月	24	13	20	13	18	207	97	37	201	542	960	775	418	7	185
						459	193	78	230	960					
2月	24	10	20	9	21	92	87	18	355	552	821	524	269	12	297
						155	143	30	493	821					
3月	10	2	8	2	8	97	3	11	20	131	252	71	142	6	110
						161	6	15	70	252					
累計	290	236	250	184	587	9,024	1,487	2,568	7,833	20,912	34,947	25,638	13,648	209	9,238
						16,899	2,211	4,197	11,640	34,947					

## 第8節 宮城県蔵王自然の家

### 1 目標

#### ○教育目標

- (1) 蔵王の雄大な自然の中での体験を通して、心豊かでたくましく生きる力を備えた少年、即ち、
- ① 自然の美しさに感動し、自然を大切にす少年
  - ② 何事にもくじけない、強い意志と体力を持つ少年
  - ③ 互いに協力し、自ら生活を工夫し、他人を思いやる心を持つ少年の育成に努める。
- (2) 社会教育施設として、広く県民の利用をととして生涯学習社会の構築に寄与する。

#### ○生活の指標

教育目標の達成を目指し、少年たちの自主的な活動をととして、「規律」「協同」「友愛」「奉仕」のこころをはぐくむことを生活指標とする。

#### (1) 規 律

自然の家の使い方や、自分たちで定めた約束を守り、みんなで楽しい生活をするための、集団生活の仕方を学ぶ。

#### (2) 協 同

自分たちの仕事に責任を持ち、互いに力を出し合っ一つ一つの活動をなし遂げ、助け合うことの大切さを学ぶ。

#### (3) 友 愛

協同生活をととして友達の良さを知り、お互いの存在を認め合うことの大事さに気づき、他人を思いやることの大切さを学ぶ。

#### (4) 奉 仕

自然の美しさを守るための行動及びスムーズな集団生活ができるよう進んで活動をし、他人のために仕事をするこの楽しさを学ぶ。

### 2 目標達成のための指針

#### (1) 教育内容の充実

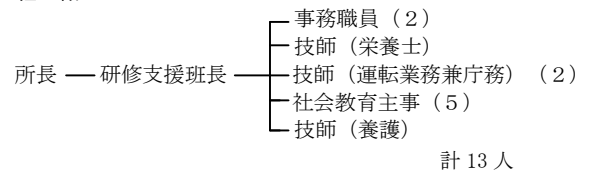
- ① 利用団体の主体的活動を進めるプログラム作成への支援及び学校週5日制への対応を推進する。
- ② 生涯学習社会の観点から、多様な利用に対応できるプログラムの開発やボランティアの養成に努める。
- ③ 魅力ある活動コースを開発・整備し、野外活動の活性化を図る。
- ④ 時代に対応した施設利用のあり方について工夫改善を図る。
- ⑤ セカンドスクールの実施など積極的な学校・社会教育施設及び大学との連携融合を図る。

#### (2) 広報活動の充実

- ① 施設の理解と利用の促進を図るため、広報活動を積極的に進める。
  - ② 社会教育諸団体及び関係機関との連携を深め、広く情報の提供に努める。
  - ③ 利用者向け「主催事業一覧」や「利用の手引き」等を作成し利用の促進を図る。
- #### (3) 施設・設備の整備、充実
- ① 活動しやすい設備の工夫と快適で清潔な環境づくりに努める。
  - ② 常に施設・設備の安全点検を行い、事故防止に万全を期する。

### 3 組織と予算

#### (1) 組 織



#### (2) 予 算

項 目	金 額 (千円)
管 理 運 営 費	36,317
事 業 費	1,728
施 設 整 備 費	1,696
合 計	39,741

#### (3) 収容人数

宿泊室 254人  
 山小屋 120人  
 テント 75人

### 4 事業概要

#### (1) 主催事業

第5-31表

##### ① 幼児・小・中学生を対象とした事業

No.	事業名	期 日	予定対象者	参 加 者 (人)		事業内容
				実人数	延人数	
1	青少年長期自然体験活動推進事業 (チャレンジin蔵王)	7月27日 (火) ～8月2日 (月)	小学5年～ 中学3年 42人	42	287	蔵王の大自然の中で、長期間のキャンプ生活や野外活動をととして、たくましく、主体的・自立的な生活をし、生きる力をはぐくむ。 (MAP活動、川遊び、イワナつかみ、地藏岳・刈田岳トレッキング、野外炊飯、星を見る会、肝試し、乳搾り、バター作り、南蔵王縦走、スコアオリエンテーリング、キャンドルサービス、壁掛けづくり等)

② 家族を対象とした事業

No.	事業名	期 日	予定対象者	参 加 者 (人)		事 業 内 容
				実人数	延人数	
1	蔵王で発見・体感・感動 -春-	5月1日(土) ～2日(日)	小学生か中学生の 子どもと親 30組 100人	107	214	蔵王の自然に親しむと共に、植物観察等を通して、親子の触れ合いや他家族との交流・親睦を図る。
2	蔵王で発見・体感・感動 -夏-	8月7日(土) ～8日(日)	小学生か中学生の 子どもと親 30組 100人	108	216	蔵王の自然の中で、野外生活に親しみながら、親子の触れ合い、他家族との交流・親睦を図る。
3	蔵王で発見・体感・感動 -秋-	10月16日(土) ～17日(日)	小学生か中学生の 子どもと親 30組 100人	99	198	野外活動を通して、秋の自然に親しみながら、親子の触れ合い、他家族との交流・親睦を図る。
4	蔵王で発見・体感・感動 -冬-	2月5日(土) ～6日(日)	小学生か中学生の 子どもと親 30組 100人	78	156	冬山の美しさにふれながら、雪遊びや歩くスキーを楽しみ、親と子の絆を深めるとともに他家族との交流・親睦を図る。
5	家族のつどい	①6月20日(日) ②7月10日(土) ③7月11日(日) ④7月17日(土) ⑤10月30日(土) ～31(日) ⑥1月15日 ～16日(日)	家族15組 50人	① 26 ② 120 ③ 159 ④ 75 ⑤ 34 ⑥ 39	① 26 ② 120 ③ 159 ④ 75 ⑤ 68 ⑥ 39	蔵王の自然の中で、親子で自然体験活動に親しみ、親子の触れ合いとその絆を深める。 (登山とハイキング、野外炊飯、Eポート体験、沢遊び、自然物を使った創作活動、ニジマスつかみ、芋煮会、レクリエーション大会、雪遊び、アルペンスキー等)

③大学生・社会人・指導者を対象とした事業

No.	事業名	期 日	予定対象者	参 加 者 (人)		事 業 内 容
				実人数	延人数	
1	野外教育施設ボランティア養成講座 ～企画・実践講座～	① 4月24日(土) ～25日(日) ② 10月30日(土) ～31日(日) ③ 1月22日(土) ～23日(日)	大学生・社会人 20人	①13 ②7 ③9	①26 ②14 ③18	蔵王自然の家でのボランティア活動の希望者が、野外活動の基礎的技術や知識を習得し、利用者への支援が円滑にできるようにする。
2	スキー指導者研修会	① 1月6日(木)	利用団体活動引率者及び大学生・社会人	① 60	① 60	冬季間の自然の家におけるスキー活動の指導希望者および引率者を対象に、児童・生徒へのスキー指導の心構えと指導場所等の確認をし、併せて資質の向上を図る。
3	利用事前研修会	4月6日(火) 大規模改修期間につき実施せず 6月13日(日) 7月1日(木) 11月19日(金) 12月12日(日)	4月利用の学校・各団体 5月～7月12日利用の学校・各団体 8月1日～夏休み8月利用の学校・各団体 8月25日～11月1月利用の学校・各団体 冬利用の学校 冬利用の学校以外の各団体	30 0 18 80 23 25	30 0 18 80 23 25	蔵王自然の家の利用の仕方、活動プログラムの立案、野外活動の指導方法等について研修を深めるとともに、同期日利用団体相互の各種調整を行う。
4	いきいき登山教室	①5月16日(土) ②7月4日(日) ③8月28日(土) ～29日(日) ④10月10日(日)	50歳以上の方 25人	①21 ②22 ③24 ④16	①21 ②22 ③48 ④16	登山に関する基礎技術を習得し、蔵王の美しい山々を登山しながら、同好の士と交流し親睦を深める。
5	みやぎアドベンチャープログラム体験会 (MAP講習会Ⅲ)	8月19日(水) ～22日(土)	社会教育主事・青少年教育指導者 *MAPⅡ修了者 25人	19	80	各自の実戦経験を基にグループを支援し合うことで、MAPの理論をより深く理解し、支援者としての技量の向上を図る。

(2) 利用状況

第5-32表

項目 月	開所 日数 (日)	利用 日数 (日)	宿泊 可能日数 (日)	宿泊 利用日数 (日)	利用 団体数 (団体)	利用者実数					利用者 延人数 (人)	宿泊 利用者延人数 (人)	宿泊 者延人数 (人)	日帰り研修	
						利用者延人数								団体 数 (団体)	延 人数 (人)
						中学生 以下 (人)	高校 生等 (人)	引率者 (人)	一般 (人)	合計 (人)					
4月	27	24	24	13	24	753	704	111	180	1,748	3,732	3,638	1,984	8	94
5月	30	28	29	27	8	55	0	0	137	192	349	266	157	6	83
						110	0	0	239	349					
6月	30	30	30	30	13	16	0	0	81	97	155	60	58	12	95
						16	0	0	139	155					
7月	29	27	27	30	35	306	0	1	492	799	974	238	175	33	736
						429	0	3	542	974					
8月	28	27	25	22	72	981	71	185	406	1,599	3,449	3,312	1,850	24	137
						1,923	194	363	969	3,449					
9月	29	29	28	26	76	2,956	0	350	159	3,465	7,765	7,635	4,300	9	130
						6,700	0	715	350	7,765					
10月	28	28	25	18	39	1,160	10	136	224	1,530	3,640	3,516	2,110	8	124
						2,937	20	307	376	3,640					
11月	25	14	21	7	11	178	9	19	165	371	780	758	409	4	22
						356	18	47	359	780					
12月	24	11	19	5	9	23	0	7	151	181	316	266	135	5	50
						42	0	14	260	316					
1月	25	23	22	17	44	753	5	128	207	1,093	2,230	1,888	1,137	18	342
						1,623	9	255	343	2,230					
2月	24	21	20	15	56	785	14	155	256	1,210	2,650	2,499	1,440	18	151
						1,830	28	325	467	2,650					
3月	30	2	8	1	6	22	0	0	19	41	57	32	16	4	25
						31	0	0	26	57					
累計	329	264	278	201	385	7,988	813	1,092	2,477	12,326	26,097	24,108	13,771	149	1,989
						17,592	1,893	2,262	4,350	26,097					

## 第9節 宮城県志津川自然の家

### 1 目標

- (1) 「健康・規律・友愛・奉仕」の心を育む自然の家の実現をめざす。
- (2) 施設の果たす役割を十分に認識し、心豊かな実践力のある青少年の育成を図る。
- (3) ふれあいを大切にし、研修生自らが積極的に学ぶことができる環境づくりに努める。「出会い ふれ愛 磨き合い」
- (4) 社会教育施設として、広く県民の利用を通して生涯学習社会の構築に寄与する。

### 2 目標達成のための指針

- (1) 海洋型自然の家としての特色ある主催事業の推進
  - ア 青少年に活動と交流の場を提供するとともに、長期的な視点に立って、多様化した青少年の学習活動を支援・促進する。
  - イ 広く県民に参加を呼びかけ、満足感や自己発見ができる事業を推進する。
  - ウ 志津川湾の恵まれた自然条件のもと、海の魅力にふれるとともに、環境問題等について考える事業を推進する。
  - エ 学校教育との連携を図り、児童・生徒の「生きる力」を育む共同宿泊体験事業を推進する。
  - オ 海洋型施設を支援するボランティアを育成するとともに、地域の指導者の活用を積極的に図る。
- (2) 研修生の自主的な研修活動に対する効果的な支援

- ア 事前打合せを綿密に行うとともに、「利用団体指導者事前研修会」を実施し、利用者の研修目的に沿った計画の作成を支援する。
- イ 研修時は、事故防止の徹底を図るとともに、研修効果を高められるように配慮する。
- ウ 地域との連携を密にし、必要な情報の収集と発信に努め、利用者の多様な活動を支援する。
- エ 学社融合を推進し、セカンドスクールとしての利用や「総合的な学習の時間」の活動を積極的に支援する。
- オ 県民の多様な要望に対応できる魅力的で幅広い研修プログラムを研究・開発する。
- カ MAP（みやぎアドベンチャー・プログラム）の指導者養成に努める。
- (3) 利用者の立場に立ったサービスの向上
  - ア 研修生には誠意をもって対応し、笑顔をやささないよう心がける。
  - イ HPの充実など広報活動に力を入れ、施設の理解と利用の促進を図る。
  - ウ 施設環境の整備に力を注ぐとともに、常に施設・設備の安全点検を行い、事故防止に万全を期する。
  - エ 職員研修を積極的に推進し、専門性を生かした研修支援に努める。

### 3 組織と予算

#### (1) 職員組織

所長 — 研修支援班長 —	}	事務職員 (2)
		技師 (運転技術兼庁務)
		技術主査 (栄養士)
		社会教育主事 (4)
		計 10人

#### (2) 予算

項目	金額 (千円)
管理経費	29,851
主催事業費	1,186
施設整備費	2,900
合計	33,945

#### (3) 収容人数

宿泊定員100人

### 4 事業概要

#### (1) 主催事業

第5-36表

No.	事業名	期日	実績	ねらい・主な研修内容
1	ヨット&マリンスポーツ	第1回6月12日(土)~13日(日) 第2回7月10日(土)~11日(日) 第3回9月11日(土)~12日(日)	青年 (高校生以上) 1回目 23人 2回目 25人 3回目 23人	ヨットやシーカヤックなどの操作技術を習得し、マリンスポーツを体験することによって、海の魅力や自然の雄大さにふれる。 ・講義 (ヨット艦装, 操作, 海の交通規則) ・実技 (ヨット艦装, 操作, シーカヤック体験)
2	青少年長期自然体験活動推進事業 (サマー・チャレンジIN南三陸)	8月6日(金)~12日(木)	小学5年生~中学3年生 32人	MAPの要素を取り入れた集団での宿泊体験活動により、友だちと協力することの大切さを学ぶとともに、大自然のすばらしさにふれ、心豊かでたくましい児童・生徒の育成を図る。 (無人島探検, いかだづくり, バナナボート, オリエンテーリング, 野外炊飯, 魚市場見学, 海水浴, レクリエーション大会, 軽登山, 魚竜館見学, 洋上めぐり・釣り, 創作活動, キャンプファイアー) 等
3	スキューバ入門	8月21日(土)~22日(日)	一般成人 21人	スキューバダイビングの初心者向け講習をとおして海に親しむ機会を提供し、マリンスポーツの魅力を味わうことで、普及に貢献する。 (スキューバに関する講義, スキューバダイビング体験等)
4	生き生きゆとりライフ① (みやぎ県民大学)	9月19日(日)	一般成人 10人	ニュースポーツに挑戦し、従来にない種目の特性を理解するとともにその楽しさを味わい、スポーツに親しむ心を育てる。 (グラウンド・ゴルフ)
5	志津川自然の家オープンデー	9月19日(日)	地域住民 116人	地域の方々に自然の家を開放し、様々な活動を体験していただくことにより、自然の家への理解をより深めるとともに利用拡大を図る。 (グラウンド・ゴルフ, オリエンテーリング, 石ころアート, 洋上めぐり, バナナボート等々)
6	オートムIN志津川	10月9日(土)~10日(日)	一般成人 30人	野鳥の森でのキノコや植物の観察, 磯の散策, 海岸での釣り等を通して、自然の素晴らしさや大切さを学び関心を高める。 (里山散策とキノコ採集, 海釣り等)
7	生き生きゆとりライフ② (みやぎ県民大学)	10月16日(土)	一般成人 10人	養殖いかだ(ホヤ, カキ)を見学し、船釣りをする。志津川湾が養殖に適した湾であることや地域の水産業の特色を理解したり、釣りをとおして自然の豊かさを感じ取ったりする。
8	生き生きゆとりライフ③ (みやぎ県民大学)	10月30日(土)	一般成人 10人	海藻を採集し、それを利用してしおり作りをする。おしぼなどは違う味わいを楽しみながら、海への関心を高める。
9	海の味覚 ~親子でくんと作り~	11月6日(土)~7(日)	親子 32人	志津川湾の海の幸を親子や仲間と調理し、賞味して、海の恵みの素晴らしさを知る。(イカ燻製作り, カキ・ホタテ剥き体験, シーフードパーベキューと神割崎鍋等)
10	生き生きゆとりライフ④ (みやぎ県民大学)	11月13日(土)	一般成人 10人	野鳥観察をとおして、自然に親しむとともに森を散策することにより健康増進を図る。
11	輝きいっぱい! 天空のロマンを求めて 親子で星座観察	12月4日(土)~5日(日)	親子 41人	四季折々の星座などを調べたり、冬の星座を観察することにより、星座に対する関心を高める。また、星座から宇宙の広大さなどを実感するとともに、豊かな自然を感じ取る心を育てる。
12	ジュニア・リーダー 上級研修会	12月25日(土)~27日(月)	ジュニア・リーダー 上級取得者 27人	中級研修修了者で、市町村教育委員会の推薦者及び指導者で少年団体活動にかかわっている者を対象に実施し、ジュニア・リーダーとしての資質の向上を図る。

13	南三陸の香り, 味	1月15日(土)～16日(日)	一般成人 39人	南三陸志津川の自然や味にふれることにより, 南三陸の良さを知る。 (くん製作り, カキ・ホタテむき体験, シーフードバーベキュー, 海鮮鍋等)
14	ノルディックウォーキング in 志津川 ～潮風を感じて～	1月23日(日)	一般成人 43人	自然を満喫しながら, ノルディックウォーキングの理論と実技を体験 する機会を提供し, 健康で豊かなライフスタイルづくりの実践意欲を醸 成する。
14	バードウォッチング入門	2月13日(日) 3月6日(日)	県民 1回目 7人 2回目 9人	野鳥観察をとおして, 自然に親しむとともに森を散策することにより 健康増進を図る。

(2) 利用状況

第5-37表

項目 月	開所 日数 (日)	利用 日数 (日)	宿泊 可能 日数 (日)	宿泊 利用 日数 (日)	利用 団体 数 (団体)	利用者実数					利用者 延人数 (人)	宿泊 利用者 延人数 (人)	宿泊 者延 人数 (人)	日帰り研修	
						利用者延人数								団体 数 (団体)	延 人数 (人)
						中学生 以下 (人)	高校 生等 (人)	引率 者 (人)	一般 (人)	合計 (人)					
4月	27	26	24	15	13	603 1,219	207 414	73 153	38 76	921 1,862	1,862	1,751	941	1	111
5月	27	27	23	20	19	935 1,976	33 72	90 202	79 150	1,137 2,400	2,400	2,171	1,263	3	229
6月	26	24	22	18	35	850 2,267	0 0	131 357	206 252	1,187 2,876	2,876	2,632	1,689	6	244
7月	28	28	25	23	51	1,020 2,428	19 49	137 347	460 748	1,636 3,572	3,572	3,304	1,936	4	268
8月	28	27	25	23	40	599 1,623	64 172	100 261	202 490	965 2,546	2,546	2,452	1,581	9	94
9月	26	26	22	19	31	777 1,929	87 171	114 283	190 281	1,168 2,664	2,664	2,451	1,496	5	213
10月	27	10	22	4	13	134 226	23 46	28 54	133 210	318 536	536	436	218	5	100
11月	25	12	21	7	11	281 436	6 12	41 76	181 341	509 865	865	624	356	1	218
12月	24	9	20	5	6	23 46	134 311	25 61	31 53	213 471	471	462	258	2	9
1月	26	9	20	5	9	77 144	88 253	30 55	109 160	304 612	612	534	308	2	78
2月	24	6	21	2	6	38 53	0 0	0 0	58 81	96 134	134	76	38	2	58
3月	10	4	8	2	3	41 76	35 70	13 26	10 11	99 183	183	168	84	1	15
累計	298	208	253	143	237	5378 12,423	696 1,570	782 1,875	1,697 2,853	8,553 18,721	18,721	17,084	10,168	41	1,637